

ふしんしやのおねえさん～ふわふわおねえさんの夜這い系初恋凌辱～

第1話 しらないひとからのでんわにでない

☆明らかによそ行きの、本人とはわからない声で、「ぼくん」の家に電話をかけてくるおねえさん。当たり障りのない用事を装い、それとなく電話の相手を探る。

(00:07)

.....もしもしー、あの、先月の水道料金の件でお電話さしあげたんですが、お電話をお受けいただいた方は.....あら、お子さんかな？

☆電話に出たのが「ぼくん」とわかると、おねえさんは思わず喉を唸らせてしまう。注意深く保護者の不在を確かめ、猫なで声で本題を切り出す。

(00:25)

うん、うん、あの家、子供は一人、ってことは、今話してるのは、絶対。ぼくんだあ.....う♡
あ、ごめんなさい、かわいいお声が聞こえてきたのでえ.....ふふ、ねえ、ぼく、今おうちに、お父さんやお母さん、大人の方はいらっしゃらないかな？ ほんとう？ お留守番なの？ すごい、偉いねえ♡ しばらく帰ってこない？ ほんとうは電話のそばで聞き耳立ててるとか、ない？
えー、絶対だよ？ 約束♡ じゃあ、ちょっとお姉さんとお話ししようか♡

(01:34)

ねえ、ねえ.....ぼくんはあ、今、何色のおぱんつ、はいてるのかな♡

☆おねえさんは、答えを待たずして息を荒くはじめる。おねえさんの口調に切迫したものが混じり、少しずつ情欲に思考を塗り潰していく。

(01:49)

.....あれ、聞こえなかったかな♡ おねえさん、どんなおぱんつはいてるか教えて、って聞いてるよ♡ つはあ、はあつ、ふ、ふふ♡ なんで、じゃない♡ 大人が聞いてるんだからすぐ答えなさい♡ ほらあ、ぼくんは、ど~んなえっちな布でおちんちん♡ たまたま♡ きゅっきゅ~つ♡ って、包んじやってるのかな♡ こども専用の真っ白ブリーフでぴっちり♡ 大事なところを隠してるの、それとも、背伸びしてトランクスなんかはいて、おちんちんすーすーする感覚でちょっと内股になっちゃつたりしてるの.....♡

☆答えを得た嬉しさのあまり、受話器を握る手に力が入るおねえさん。聞こえてしまうくらいの音量で、ただし子供にはわからない露骨な言葉で、独り言を漏らす。

(02:38)

.....あ～～♡ そうなんだ、ぼくんのおぱんつ、そんななんだあ♡ ふへ、え♡ あ～チンポ揉み捲るう♡ 絶対明日おんなじの買いに行こ♡ 買い占めて毎日かっぴかぴになるまでシコろ♡ 成人女性用のサイズとかあるわけないけど、うわっ、うわ、うわ、デカマラ詰めこんでぎちぎちい.....♡ あ、ううん、なんでもないよお♡ 教えてくれてありがとう♡

☆おねえさんは奇妙にひね媚びる声で、「ぼくん」に次の要求をもちかける。見えないのをいいことに、もぞもぞと腿をすり合わせ始める。

(03:28)

それでね、えひひつ、ぼくん♡ かっこいいおぱんつ履いてるぼくんにい、もっとかっこよ～くなれるおまじないを教え.....あっ、そ、そうだあ♡ そう、おねえさん、ぼくんのお母さんに、ぼくんのおちんちんをかっこよくしてあげてください、って頼まれたからあ♡ う、ふつ♡ そ、うう♡ おぱんつ、おちん、ちん♡ ふ一つ、ふう、一つ.....おちんちん、出して♡ おズボンのチャックかちゃかちゃ外して、おぱんつ下ろしておちんちん出して♡ なんでっ、おねえさんはもう、出してるよ♡ ぼくんも、ほら♡

☆わずかな衣擦れの音にさえ、すでに十分膨張したペニスを持ち上げるおねえさん。膝を震わせ、声がつられて不安定に揺らぐ。

(04:32)

おい、おい、おいっ♡ なんだ、このがさがさ言ってる音、おお♡ 脱いでんのか、おぱんつ下ろしてんのか♡ ひつ、ひいい♡ 天才♡ こんなちっちええ年のくせして♡ ちんちんぶるぶるストリップでふたなり女のデカチンポガチバキに勃起させる才能がある、う～っ♡ おつおつお、お～♡ これすっご、太もも真ん中ぶら下げたキンタマ袋お♡ 下からたぷたぶ持ち上げたら、重たっ、ヤバ、中身♡ ネバ汁生殖欲求詰まりすぎ、いひ.....～っ♡

☆おねえさんは興奮に喉を引きつらせ、「ぼくん」ににやにやと語りかける。受話器を持っていないほうの手が、強い意志でペニスへと伸びる。

(05:27)

あ～♡ ぼく、くん♡ おぱんつ脱げた、かな♡ うひ♡ おちんちん、お、おうちの中で丸出しにしちゃってるんだあ♡ かっこい～い♡ それ、つでえ♡ おねえさん知ってるんだけど、ぼくん.....おちんちん、「ほうけい」でしょ♡ やだ♡ ぼくんのちんちんは未使用ぷりぷりお皮すっぽりおうちに飾りたいかわいいちんちんじゃなきややだっ♡ 死ぬ♡ 剥けてたらおねえさん死ぬっ♡ 包茎♡ 包茎♡ 包、茎い.....うう、～っ♡

(06:18)

っは、あえ、なんでもないよ♡ あのね～♡ ぼくんみたいな「ほうけい」だと、かっこわるいし、ださいし、さいていだし、お病気にもなっちゃうんだよお♡ 怖いねえ♡ はっ、はへ、え～♡ 大丈夫、っ♡ おねえさんが手伝ってあげる、から、おちんちん剥いちゃお♡ うん、うん、おねえさんもいつ

しょにおちんちん剥く、からね♡ んへ♡ やつた、あ♡ 合法的にぼくくんの前でチンポ握る口実
ゲット、お～♡ まあおねえさんは♡ とっくにズル剥けオナ焼け黒グロチンポ♡ なんだけど、うひ
♡

☆自らの言葉のまま「ぼくくん」の幼いペニスを露茎させる感動で混乱するおねえさん。自分のペニスにさえ見当違いな怒りをぶつけ、浅ましく悶える。

(07:16)

ほら、おちんちんの、できるだけ先っぽのほうをきゅっと握って～……きゅつ♡ へ、へんだよね♡
おしつこのときはそんなことしない、もん、ねえ♡ でも、そのままおてて、おなかのほうに引っ張って～……あつあつすごい、皮がぬる～って伸びて、ねつ、ねつ、おちんちんのち～つちやい段差乗り越えてもと引っ張つたらどうなっちゃう？ わあ♡ ぼくくん、おちんちんのまっかな先つちょが見えてきた♡ いくよ♡ おちんちん剥くよ♡ 大人のオチンポになるよ、せーの、むきい～～つ♡

(08:14)

え♡ え♡ え♡ 今ぼくくん「んつ♡」って言った♡ おちんちんはじめて性的快感覚えて半熟オチンポ初剥けっ♡ ぐう、つつ♡ 年上女のキンタマイラつかせるのうますぎりゅつ♡ うああ睾丸だけ上がりまくってだらしな垂れキン袋ん中でべちべちぶつかりまくるつ♡ う～～つ♡ なんで私のちんちん剥けてんだよ、つぐ♡ ぼくくんといっしょにズル剥け～♡ ってして生ぐっせえ不潔チンポ臭で濃縮オス汁ぶっこかせろっ、この、おお、お～♡

☆慌てて整えた呼吸のせいで、おねえさんの声が奇妙な痙攣を帯びる。いたいけな男児を淫悦に導く背徳で、ますます息は詰まる。

(09:01)

……んつ♡ はへっ、へ、へえ～♡ おちんちんの先♡ 初めて見たねえ♡ どんな気分？ くすぐったい？ そうだよね、まだまだオチンポ遊びはじめたてだもんねえ♡ それじゃ、もう一回♡ くにくに♡ ってお皮伸ばして、「ほうけい」に戻しちゃう……

(09:32)

ううん、今はね、おちんちんさんが～、剥けちゃった♡ ってびっくりしてるから、何回も剥いて、かぶせて、おちんちん剥けるの怖くないよー♡ 平気だよー♡ って教えてあげるのぉ……♡

☆おねえさんは矢継ぎ早に指示を出し、「ぼくくん」を無意識の自慰に誘う。生柔らかいペニスの剥けるさまを想像して、情欲がちらちらと燃える。

(09:54)

剥いて♡ 戻して♡ む～いて♡ もどして♡ ぼくくんの指で、おちんちんの皮あ、くにゅ、つはつ、くにゅ、つふふ♡ う～♡ うわ、ああ、あは～つ♡ 無垢なオチンポに皮オナ教えちゃってる、う♡ あ～あ♡ かわいそ♡ 最初にのびのびチン皮いじりなんて覚えたら、あっという間に先っぽぷる

んって垂れた巾着オチンポになっちゃうね♡ んっ♡ ほら、指止めないで、もっとむきむき♡ 繰り返して大人才チンポになろっ、ふふふ♡

☆電話越しに未熟な勃起の気配を感じ取り、おねえさんは甘ったるい息を吐いて笑む。「勃起」の言葉だけで昂る青いペニスを、煽情的に誘う。

(10:44)

.....え～？ どうしたの、おちんちん変なの？ あら、おちんちんの頭が、むく、むく♡ 持ち上がつてきちゃったの、うふふ、ふひつ♡ お母さんに聞いてみる？ ぼく、おちんちんがかちかちになっちゃったよお♡ って.....うん、それは恥ずかしいよね♡ ね、だから、ぼくくんとおねえさんの秘密だよ♡ ぼくくんのおちんちんが、「ぼっき」しちゃってること♡ そう♡ おちんちん硬いの、ぼっき、っていうの♡ ぼっき♡ ぼっき♡

☆「ぼくくん」を淫靡な快楽に導きながら、その実いちばん手を早く動かしているおねえさん。唾液と先汁を溢れさせ、野放図な自慰に酔う。

(11:37)

あれ、ぼくくん、あれあれえ♡ おてて止まらなくなっちゃった♡ うふ♡ だってぼくくん、おねえさんがぼっき♡ って言うの聞いてもやもやしてるもんねえ、頭の中♡ いいよ♡ ぼっき♡ っていっぱい言ってあげる♡ だからいっぱいぼっきしておちんちんむきむき体操して♡ そおれ♡ ぼっき♡ ぼっき♡

(12:09)

おつおつお“お勃起っ♡ 勃起するチンポおっ立つ、うう、つふん♡ ん♡ お”、っ、おねえさんはあ♡ ぼくくんが媚び媚びメス声でぼっき♡ って言ってくれなくともこうやって玄関先股間真ん中反り立つぶつといデカチンびんびん体操できるからね♡ おねえさんチンポの勝ちっ♡ っ、はへっ♡ うあ”♡ は一つ♡ チンポかった♡ ふっと♡ なっげ♡ お、っぽお～♡

☆おねえさんはしばし恥も外聞もない自慰に耽る。「ぼくくん」の一挙手一投足に劣情を沸き立てさせ、貪欲に手をもぞつかせる。

(12:49)

あっ、あ～っ♡ はあはあ言ってる♡ 私のことオナペットにしてズリネタにして、キンタマのおかずにしてちっちええチンポしごいて、う”ふつ♡ ふつ、へええ♡ ナメんなクソガキ♡ おねえさんだつてぶるんつつ♡ って牛さんみたいなオス欲むずむずキンタマ袋ぶら下げるもんっ♡ んふ一つ♡ ふ、う”♡ ほら、ほら、いいの？ 揉んじゃうよ♡ おねえさん、ぼくくんのせいでたっぷり分泌しちゃったとろとろカウパー線液指に塗りたくってえ、はあつ♡ いつも蒸れててしっとり肌触りのデカタマ袋、揉む、つぐ.....う♡

(13:36)

う°♡ あつダメダメダメ、えへ♡ ふぐ、ぐつ♡ 手のひらはみ出すほど辜、丸ん♡ もちつ♡ つと
ふくらザーメンタンク直接刺激で、あああ、あへつ♡ ぼくんで精巣活性化させてタマミルク溜め
まく、って♡ おほつ♡ 引っ張ったらも～っと、うほほつ♡ おでぶ陰囊、ひつ♡ ひひ、引っ掴んで、
おつおつ腰落とす♡ 膝が開くつ♡ 股割ってどっしり床踏む太チンポセンズリ、い～♡ オカズはぼ
くんでえ、無限にシコれるぞっ、お°♡ お°♡

☆おねえさんはのぼせながらも、「ぼくくん」の声には鋭敏に反応する。柔軟な態度を取り繕いつ
つ、隠れるようにペニスをいじくる。

(14:28)

んえつ♡ ええ♡ え°♡ え？ どうしたのかな、ぼく、くん°つ♡ あらら、おしっこ出ちゃいそうな感
じがするの？ せ、精通う♡ うほつ♡ えへえ、大丈夫っ、それは出してもいいおしっこだからあ♡
へつ♡ へつ♡ だっておねえさんは一日中出しまくってるよ♡ 今も、お、出そつ♡ 人んちのガキ
勝手に精通させる興奮で♡ 热くてかたいチンポがオスイキ汁、噴ぐ、ぐぐぐ♡ うーつ♡ だめつ
♡ ぼくくんの精通に合わせておねえさんも本日五回目の精通しゆる、んだから、あうう♡

(15:14)

うんうんっ、だから、ね♡ それもおねえさんとの秘密だから、ほらおちんちんまっすぐでお皮か
ぶせやすい♡ 剥きやすい♡ もっと余り皮にゅこにゅこ♡ して♡ んへ、え♡ ああ～絶対きょろ
きょろしてる♡ 悪いことしてるのバレないように辺り見回して、え°つへ♡ でも見えないもんなあつ
♡ 電話の向こうでおねえさんがガニ股でチンポ生やしてキンタマ揉んで♡ う°♡ ふつ♡ 手のひ
ら裏筋に押し当ててぐりゅ、ぐりゅ♡ つ♡ つへ♡ お上手センズリぶっこいてるのも見えてない、
いひ♡

☆「ぼくくん」が絶頂してしまいそうなのをいいことに、甘言を弄して獣欲を満たそうとするおねえさ
ん。もはや優しいお姉さんの擬態は崩れかけている。

(15:58)

あれ♡ もう我慢できないの？ おしっこ出ちゃう？ そお♡ あ、つふふ♡ じゃあぼくくん、おね
えさんといっしょに10から数えて0になつたらおしっこしちゃおつか♡ それならおねえさんにおしっ
こするの聞いててもらえるから安心だよね♡ それでいい？ いいよね♡ 0になつたらぼくくんの
おちんちんはむずむずおしっこしちゃう♡ は？ ダメ♡ 絶対出して♡ おねえさんに約束しろつ♡
じゃあ、せー、のお♡

☆射精カウントダウンが始まる。「ぼくくん」は自分の意思で数えているように錯覚しているが、実
際はおねえさんのペニスに都合よく、10秒が引き伸ばされる。

(16:39)

じゅーう♡ きゅう♡ きたつ♡ チンポ新品ショタのオナサポ精通カウントダウンっ♡ 数数えても
らって射精するのつ、う°～～つ♡ チンポの芯にずんずん来る、マラ竿びんびん暴れてやあ、つ
バつ♡ うお♡ オラッ♡ ぼくくんもっとスケベ声出せ♡ うほうほ喘ぎながらちんちんしごいたほう

が絶対きもちいだろがつ♡ つは、はち、なな、うほ、うほ、ほお、～つ♡ キンタマごってりメス種汁柔らかくしろ♡ 初々しいオナ声でおねえさんのチンポしごけ♡ おおお♡ ぼくくんの控えめ喘ぎで精巣ふにふにマッサージ、いい♡

☆ついにおねえさんは「ぼくくん」をも裏切り、自らの射精欲求に耽溺しはじめる。野太い雄の声を聞かれようが気にする余裕もない。

(17:37)

ろおー、く、ううつ♡ お~っくるつ♡ エッグい慣れすぎ肉竿摩擦で濡れ濡れチンポ穴♡ からあつ♡ 生ぐっせえオナ猿臭♡ 本物おしつこより真っ白ショーンベン出すほうが多い射精中毒メスチンポなのバレバレの脂っこい匂い振りまいて、あううう~♡ う、～つ♡ なんだこの亀頭♡ 真っ赤赤黒てつかてかでよだれ垂らしまくりやがって♡ そ、そんなに受話器の向こうの肉、肉、う♡ 肉穴ほじくり欲求、ごくつ♡ ぼく、くん……つ♡

☆おねえさんは甘い息遣いで、「ぼくくん」に懇願する。そして「ぼくくん」は与り知ることのできない、あまりにも品のない痴態で、一気にのぼりつめる。

(18:23)

ね～～え♡ ぼくくん、ん~つ♡ まだ数えられてるかな？ 残りの5からぜ・ろ♡ までは一気に行くからね♡ あ～……それでえ♡ おしつこ出るときは、「ぴゅーーー♡」って言ってほしいのお、おねえさん♡ ん、つふ♡ そう、今から出るおしつこはあ、「ぴゅーーー♡」って元気よく飛び出すんだよ♡ うん♡ ゼロ、で、精通、「ぴゅーーー♡」

(18:58)

えひ、ひひつ♡ そしたらおねえさんはあ、この、「ぴゅーーー♡」したがってるドス黒ばきばき肉チンポ♡ の、狭あい穴を、お指で……ぐぱつ♡ う~ひつ♡ あつあつ♡ マンコの奥まで種届けるためにかたくなってるチンポ穴、なのにい~♡ ぐぱっと広げたらザコ射精しかできない♡ あ、ああ、ぼくくんに嘘ついちゃ、う♡ ほ、ほら、ぼくくん♡ ぴゅーーー♡ だから、ね、イっく、イぐっ、う~♡ ほら、ほら、精通しろ、ろくっ、ごーよんさんに一いち、うあ、ゼロお～～つ♡

☆潰れた嬌声を上げ、絶頂感に浸るおねえさん。押し開けた尿道口から濁精がこぼれ、壮絶な射精をする。

(19:46)

う~え♡ え~♡ ゼロつ♡ ゼロ♡ ゼえ、ろ、おつ、おほ♡ ぴゅうううふう~～♡ つ♡ ああああごめんねぼくくんつ♡ ぼくくんが精通、つ♡ はじめて尿道にうっすい真っ白おしつこ通してぴゅーーー♡ しでるっ、のに、にひつ♡ ごめんねえ~、おねえさ、ん~つ♡ ぴゅーできません♡ ん♡ んん♡ めいっぱいくばあつ♡ したザーメン噴き出し口♡ ぼた♡ ぼた♡ おつもいキンタマミルク、んお、んお~♡ チンポ踏ん張ってぶつ濃いの産み、落としてごめん、ねえ~へつ♡

☆おねえさんはふと受話器を離し、あろうことか汁を噴きこぼし続ける自らのペニスに近づける。「ぼくくん」がそれを聞いていると思うと、背筋を引きつらせて悦んでしまう。

(20:45)

お♡ ほら、ほらぼくくん聞いてっ♡ おねえさん、お耳から受話器離して……うふ、ふひつ♡

(21:08)

ひ、い♡ 聞こえたかなっ♡ ぶつとい女の子巨根がぶるぶる震えて♡ 塊お精子真下に落としてる音♡ おねえさん、おしこも下手くそなのっ♡ 下手くそだからキンタマ丸ごと縮めてごってりアクメ汁ションベンぶりゅぶりゅそこら中に落として男子トイレのにおいにさせちゃうのっ♡ ふう♡ おい聞いてんのかクソガキ♡ お前のせいでチンポこんな激エロオス種射精キメてんだからな、あ～っ♡

☆と思うと、「ぼくくん」の思わぬ淫態に気づくおねえさん。にやにや笑いをにじませた怒りの声を漏らし、さらに深い絶頂にのたうつ。

(21:51)

でえ？ おいガキい♡ ガキはちゃんとぴゅーー♡ ってえ、きもち一おちっこできまちたかあ……え♡ な、にやにやつ、にやにも出ない、って、はああ～～？ あ♡ 見えたっ♡ まっかな剥けたてつるつるちんちん♡ まだお精子出しちゃいけません♡ ってもどかしい精通感覚でサオぱんぱんにして……ふざけん、なっつ♡ しゃぶりてえつ♡ いちばんうめえ時期のもぎたてちんちん抜けるくらい吸いつきまくって精子出す前から一生インポにしてやりてええ……おつまたチンイキキマる、つ♡

☆おねえさんはすでに肉竿の上で手を動かし始めている。ペニスがそれに応えて首をもたげ始めると、おねえさんはことさらに「秘密」を強調して電話を切ってしまう。

(22:51)

ん♡ ふつ♡ ああまたチンポおっ立ってきた、んんっ♡ うん、それじゃぼくくん、ねえ♡ おねえさんはシコ、つ♡ んふつ、ご用事があるから電話切るけど、ぼくくんはさっさとおちんちんしまっちゃいなさい♡ ……あ！ それと、この電話とおねえさんのことは、家族の人には絶対ゼ～つたいた言っちゃダメだよ♡ おねえさんとぼくくんの秘密、守れるかな？ は～い、いいこ♡ もしほかの人間に言っちゃったら、ぼくくんのおちんちん取れちゃうかもだから、絶対ひみつ……んふつ♡ それじゃあ……またね、ぼくくんっ♡

第2話 こわいことにあつたりみたりしたら、すぐにおとなにしらせる

☆早朝、登校の時間。店のシャッターを開け、ゴミを出しに行こうとするおねえさんのもとに、「ぼくくん」がとぼとぼと寄ってくる。おねえさんはほがらかに声をかける。

(00:01)

うーん、今日も温かくなりそうない天気……いけないいけない、ぼーっとしてないでゴミ出し
ちゃわなきや。あ！ ぼくくん、おはよう！ ……あら？ あら、ぼくくん、どうしたの、難しいお顔し
て。学校で嫌なことでもあったのかな？

☆すかさず小さな身体を抱き留め、深呼吸を促すふりをして自然に「ぼくくん」の匂いを吸いこむ
おねえさん。「ぼくくん」からは見えないように、頬をとろかして笑う。

(00:33)

はいはい、おねえさんのお胸にいらっしゃい……えいっ！ 捕まえちゃったつ。うん、うん、落ち
着いて、深呼吸、すう～～……つ、ふ、ふへつ♡ あえ、なんでもない、よお♡ それより、どうした
の？ 学校に遅れちゃわないくらいならだけど、おねえさん、ぼくくんのお話聞きたいな。

☆「ぼくくん」の口から他でもない自らの所業を伝え聞くおねえさん。空とぼけた口調で話を引き
出しながら、腰がもぞもぞと落ち着かない。

(01:13)

……電話？ へえ、変な電話がかかってきたの？ はあはあ言ってる女の人に、おぱんつの色を
聞かれて、それで……あれ、もしかしてぼくくん、おうちの中でおちんちんまるだし～♡ ってし
ちゃったのかな？ あら、本当に？ うわあ♡ ぼくくん、えっちなんだあ♡ ふうん、それでえ、女
の人の言う通りにおちんちんいじ♡ いじ♡ してたら、硬あくなっちゃって、もーっとといじいじして……
ぴゅーー♡ って♡ えへ♡ おねえさんは、ぼくくんのことならなんでも知ってるんだよお、っ、ん♡

☆おねえさんは「ぼくくん」の芽吹き始めたばかりの性欲を弄ぶように、いたずらっぽくほほえむ。
吐息を含んだ声が、耳たぶに吹きかかる。

(02:14)

でも、それで困ってるってことは……あ～～♡ わかったあ♡ ぼくくん、普段からおちんちん遊び
するようになっちゃったんでしょう♡ 先生のお話を聞くふりして、くにゅくにゅ♡ 宿題でわからない
問題に出会っちゃったら、鉛筆をおちんちんに持ち替えて、お皮を剥いて～♡ 戻して～♡ 頭
真っ白になっちゃう、ぴゅーー♡ が来るまでずっと……♡

☆秘密をひた隠しにしようとする「ぼくくん」をふわふわと問い合わせるおねえさん。一見ほほえま
いその光景さえも、おねえさんは劣情の源に変えていく。

(03:05)

ぼくくん♥ ぼくうん♥ おちんちんこしこしするだけじゃ、ないよね♥ 誰か、好きな人のこと考えておちんちんしたほうが、気持ちいいもんねえ……だれ？ ふふっ、ぼくくんの好きな人、おねえさんに教えてよお♥ 絶対ひみつにするから♥ あっ、ちょっと、ねっ、ねっ、おねえさんのおめめ見て、教えて……もう、恥ずかしがつちやって、か～わい♥

☆と、おねえさんは突如大人の余裕を取り戻し、「ぼくくん」を解放する。頭を軽く撫でて見送ると、おねえさんはなぜか持って出たばかりのゴミ袋を抱え、自宅の戸口に向かう。

(04:00)

……うふふ、ごめんごめん、ぼくくん。おねえさんに話してすっきりした？ そう、じゃあ一回ぎゅーってしてあげるから、それで学校、行けるかな？ よーし、偉い子、ぎゅー……っ♥ それ、行ってらっしゃいっ！ あ、学校ではあんまり、おちんちんいじらないほうがいいよ～っ♥ ……よし、行った。

☆おねえさんの顔から笑みが消える。仏頂面のまま不穏な呟きを漏らし、足早に玄関へ歩を進める。

(04:40)

……くそつ……ぼくくん……う、一つ……あつ勃つ……犯す……犯してやる、つ……

☆施錠を確認すると、おねえさんはもう抑えきれなくなり、容貌に似合わない欲望が口をついて出る。克明に浮き上がった勃起を玄関扉にこすりつけ、陶然と息を吐き出す。

(04:52)

うう♥ ううう♥ はっ、はへっ、鍵閉めたあ♥ おっ、おつおつ、デカチンもうおあずけ限界っ、シコる、玄関でシコるっ♥ うふ、うふ一つ♥ うお♥ ごめん、ねっ、ぼくくん♥ ぼくくんが思い浮かべてシコ猿っ♥ になってるふわふわおねえさん、は♥ ぼくくんのより何倍もでつけえふってえかつてえチンポ♥ ビキつかせてドアに肉サオ押しつけてキンタマたふたふ繁殖ヘコ腰振っちゃうチンポ女、なのお、お、～～っ♥

☆おねえさんは下劣な言葉で「ぼくくん」の無垢を穢すことそのものに悦びを覚えている。多方向から巧みにペニスを刺激し、鼻息を荒くする。

(05:37)

でもぼくくんもちろんちんちんいっちょ前に勃起っ♥ してたよなああああ♥ あう、つふん♥ お気に入りのズリネタがこれ見よがしにデカパイ揺らしてぎゅ～～♥ とかしてくんだもんなあ♥ そんなのちんちんぐいぐい根元から持ち上がるに決まってんだろう♥ でもだあめ♥ ぼくくんのちんちんはザ

コ、ざあ～こ♡ だっておねえさんのチンポが本物だからあ～♡ 本物チンポの勃起は射精も知らない新品おちんちんと格が違う♡ ぱつぱつキンタマ袋まで服に押しつけるくらいの勃起が本当の勃起、いひひつ♡

☆おねえさんのペニスが先汁を噴き上げる。生地に染みこむ濡れた感触でおねえさんはまた竿を膨らせ、腹筋が痙攣するような太い嬌声を漏らす。

(06:33)

ほらオナニーだっておねえさんのほうが上手～っ♡ おてて使わずに腰ぐりぐり動かすだけで、うおっ♡ おほっ♡ ひんやりしたドアにあつつい亀頭転がして裏筋ごし、ごしひい♡ はへ、え～っ♡ おつおつおお～っ♡ おふつ♡ よだれ、ああ～♡ チンポよだれだらだら出るぞっ♡ 締まりの悪い尿道穴すぐカウパー漏らす♡ う、つべ♡ ぐちゅぐちゅいって太マラ発情臭漂わせつ、うへつ♡ へへえ♡ ていうかさっきから漏らしてたつーのっ♡

(07:24)

このクソガキっ♡ 気づけっ♡ おねえさんのおズボンにくぅ～つきりバキバキオスシルエットっ♡ カリ首の縁まで浮かび上がらせて、うお”、一つ♡ お“♡ 布に恥ずかしいシミ広げてあそこがチン穴だ～♡ ってわかるくらいの濡れメスチンポ♡ 見た瞬間にズボンとパンツ捨ててぷりっぷりショタケツ振って処女も捨てさせてください♡ って懇願するところだろうがっ、んお、つ♡

☆激昂していたかと思えば、ふと締まりのない笑みに眉を垂らすおねえさん。荒々しい自慰から一転、細やかな腰の動きでペニスを擦りつけ始める。

(07:59)

お、う～っ♡えへ♡ えへ♡ えへへ♡ だいたいぼくくんはあ♡ おねえさんがなんでこんな鼻息はふはふチンポオスになっちゃうのかわかってるのかな♡ あは♡ はあ一つ♡ 見て見て♡ ちゅこちゅこちゅこ♡ ってぼくくんのきつきつアナル掘りほぐしてあげる小刻みオチンポドリル♡ うひつ♡ おねえさんこうやってえ、ぼくくんとオマンコえっちごっこ♡ する妄想でえ、マラ幹ふと～くしてキンタマもち～～っ♡ してセンズリ猿になりまくってんだからあ.....♡

☆甘美な視線をゴミ袋に向けると、また硬度を増すおねえさんのペニス。おねえさんは誇らしげな声で、自らのペニスの成した業を並べ立てる。

(08:49)

んふ、つ♡ ほらほら、あのゴミ袋の中身♡ 用心深く二重にして、見えにくくなってる中身はあ.....ゼーんぶ、おねえさんのオチンポごしごしティッシュ♡ ザーメン発射筋肉鍛えすぎて四枚も五枚も重ねないとお精子びちつ♡ って貫通しちゃうキンタマ汁ふきふき紙♡ ふひ、つひひ♡ んお～～っ♡ って高らかにアヘ声響かせながらブリッジみたいにのけぞりアクメしないとちんちんの奥からいけないから周りにおねえさん種撒き散らかしてますます無駄づかいしちゃうふわふわティッシュう♡ ゴミ袋にい～～っぱい♡

☆おねえさんはふと思いつき、汚濁の詰まったゴミ袋の結び目をほどいてしまう。漏れ出す悪臭に顔をしかめつつ、ペニスは喜ばしげに跳ねている。

(09:33)

全部ぜん、んつぜんぶうぼくくんのいろんなえっちなところを想像しながら睾丸どくつさせた、濃厚精巣汁じゅわじゅわセンズリちり紙.....あつふへつふへへご近所さんにバレないようにきつ～～く縛ったゴミ袋もう一回開けちゃったら.....おつおつ、つチンポ落ち着かないい最初、一枚めえ.....んおつんひ、もう、臭いい目がかすむ指、震、えるつうふ開ける、開ける開けるかぴかぴティッシュ詰まつた袋、開け、ぐぐぐ

☆餓えた臭気を吸いこみ、おねえさんのかすれた喉から嘆息が漏れる。おねえさんの脳は否応なしに「ぼくくん」の像を結び、腰はかくかくと空を切って前後する。

(10:29)

.....ん“お♡ くっせ♡ 臭つ、くせくせヤベくっせつ、んおおおお“おお.....おつお～っチン棒おつぎぐなるびこびこ震える先汁垂れるオスになる、ん“へへへ、くう～っせ、つ♡ あああなんだこのにおいい♡ んじゅるつ♡ いひ、い～っ♡ 動物園と生ゴミぐちゃぐちゃ混ぜっこした鼻のひんまがる悪臭う.....こんなに出したの誰だよ、つお♡ おつおつお“♡ は～～い♡ おねえさんでえす♡ うお♡ うつお♡ 亀頭跳ねさせておりこうチンポがお返事♡

(11:21)

ヤベ、チンポからどっぷりゅ♥ した♥ きったねえ汁なのにめちゃくちゃボッキにびんびんキくぞつ♥ も、もっと近くで嗅ぐ♥ うおティッシュ黄色っ♥ んす、んすー、すう~つ♥ うつ♥ う`♥ これ♥ くっせえの全部ぼくんで出したつ♥ ぼくんで四六時中オス汁又いてるおねえさんの手作りキンタマエキス、う~目にしめる♥ ん♥ つふ♥ おねえさん、ぼくんとのぐちょぐちょどろどろ性生活思い出して泣いちゃう♥ 泣きシコ腰へコでかくかく腰止まんねつ♥ 生殖ピストン見せつける、う`ふ、ふふふ、つぐつ♥

☆おねえさんは心底楽しそうに声を弾ませる。鼻先でティッシュの山をかき分けるようにして、「ぼくくん」との捏造した記憶を掘り起こす。

(12:16)

お~♡ お~つ♡ オスくせえ射精臭脳みそばちばちキメながらぼくんっ♡ ぼくくんの思い出掘り出す♡ おっぽ♡ このゲル状ザーメンはみ出しているのはぼくくんがケツおっぴろげながら告白してくれたときのやつで♡ こっちは結婚式して初夜で一晩中ぱんぱんサカリあったときのやつ、うう~つ♡ すごいすごい♡ すぐゴミ箱いっぱいになるから全部三日以内に出したやつのはず、なのに、んひひ♡ い~っぱいぼくくんパコった記憶があるのすごいいい♡ おねえさんのキンタマはたらきもの~~つ♡

☆おねえさんは思考のまとまりを自ら手放し、狂態じみて声を上ずらせる。時折引きつるよう腰を跳ね上げ、ペニスの硬直快感にたゆたう。

(13:05)

つつかもうこんなん、えひひ♥ キンタマ汁しか入ってねーんだから、うえへへ♥ 私のキンタマそのものだろつつ♥ ヤバスケベ、ええへへつ♥ え^♥ さっきまでおねえさんっ、ごくっ、ザーメンティッシュ満杯ぱんぱんゴミ出し、して♥ ぼくくんの前、にい♥ うひつ♥ 両手と股間にぎとぎとこってり豚タマ袋ぶら下げて、お精子ついたおててで、ぼくくんを、ぎゅ、ぎゅう、って、つふううう、～つ♥ チンポつ♥ チンポかつた♥ ケツが響るくらいチンポ勃てる、ううつふ♥

☆うわごとめいた調子で二言三言呟くと、たまらずペニスをしごき始めるおねえさん。体勢が崩れ、尻だけ突き上げて前のめりになる。

(13:51)

.....し、シコつ♥ シコらなきや♥ この気持ちあつついザーメンにしてぼくくんに伝えなきや♥ あつあつ、ダメ♥ 今四つん這いだからおてて離してお股いじいじ♥ したら、ふひつ♥ 顔が目の前のキンタマ生ゴミに埋まっちゃうのに♥ シコ、シコる手が勝手にチンポに行く♥ サオの直径に合わせて手のひら丸める、あつ顔、顔がザーメンティッシュに、あつあつ♥

☆ティッシュの中に倒れこんだとたん、おねえさんの整った顔が淫悦に歪む。カエルめいた欲深な呻きを漏らし、手だけが高速で動いている。

(14:25)

ん^♥ ん^♥ う^♥ つお、つ、くつさ♥ きたねつ♥ あひひ♥ にちや♥ っていった♥ ティッシュが糸引いてめちゃくちゃシコれるぞ、お~つ、お^♥ ぼくくん、ぼくくんかわいそうなぼくくんつ♥ 憧れのおねえさんがっ♥ こんなにセンズリコキがいのあるブトチン生やしてるなんて、んぐぐ、う♥ ぼくundaiすきでつけえおっぱい♥ うつ伏せオナニーのクッション程度に使ってチンポしごいてるなんて知らないでシコってるかわいそうなぼくくんクソシコれるちんちん先っちょ穴濡れまくるうう、ん^～つ♥

☆おねえさんは自分でも忘れていた自慰の残滓を発見し、にちやついた歓声を上げる。空腰のペースが一段上がり、身体ごと声が揺れる。

(15:10)

ん.....？ おお^、っぽ♥ ほほ、お～～つ♥ あ～～こりえはつ♥ お宝発見～、あへつ♥ ん、う～う♥ くしゃくしゃ黄ばみティッシュの中に♥ いやらしいピンク色♥ くたくたに伸びちゃったゴムっ♥ おねえさん使用済みコンドーム見つけ、つ♥ ふおお、おお^♥ 私の丸太んぼオチンポに合うサイズがないからむりやり引っ張って伸ばして亀頭にかぶせて♥ うっす～く広がった中身全部にみっちりみっちり生臭キンタマゼリー充填したたっぷりチンポおむつ♥ うお^♥ 激シコれるつ、腰もっと振っちゃう、うつ♥

☆甘美な交合を幻視しながら、どこか懇願するような調子で「ぼくん」を呼ぶおねえさん。瞳は淀み、喘息めいた妖しい呼吸を繰り返す。

(15:59)

ねえ～～♡ ねえ♡ ぼくん、つ♡ ん♡ おねえさんいっぱい練習したんだよつ♡ ぼくんに、抱いて♡ って肛門全開おねだりされたら、うひひつ♡ ぱりぱりザーメン袋が勝手に持ち上がっちゃって早漏つ♡ そうになる、からあ……んあつ♡ でもでもつ♡ ふ、んぐつ♡ ぼくんをこんな年で♡ ママにしちゃうの、んへへ♡ かわいそุดからつ、おねえさんチソ緩めたいの必死で我慢して♡ 先つちょにゴムかぶせて、気持ちいいだけのセックスする予行演習で……どっぴゅ♡ どっぴゅつ♡ てえ♡

(16:43)

ひひゅつ♡ ひゅう、うう♡ だからつ♡ 抱かせてつ♡ ぼくん、つふ、つふ一つ♡ 抱かせろ、おおつ♡ 乳くせえガキの身体ごとマンコ食わ、せろ、おおお♡ ぼくんがおねえさんとおはなししながらおねえさん大好きつつてキュンつかせてるオス♡ マンコおつ♡ おねえさんのふわふわチソ臭いで甘ったる～いチソケースのにおい発しちゃうガキマンコ、お♡ おおお、マンコ、マンコ、つひゅつ、ふひゅつ、マンコお、ぼくんつ♡ まん、つこつ♡ オスケツガキケツとろとろマンコ、お～～つ♡

☆おねえさんの淫熱に浮かされた声とは裏腹に、指は冷静にもう一方のゴミ袋を開く。おねえさんはその異常性を疑うこともなく、開いたゴミ袋に股間でのしかかる。

(17:28)

んほ、ほつ♡ ほら見ろクソガキ♡ こうやって、もう一個のゴミ袋、開けて、ほら当然チソ汁ティッシュでいっぱいのキンタマくせえ生ゴミ袋お♡ あは、あははつ♡ これお前だから♡ おねえさんのメス種ぱんぱんに詰めこんではち切れそう♡ ぼくんマンコもこうなるんだからな、オラッ見ろ♡ だいすきなぼくんのマンコなんだからおねえさんはチソ突っこむ権利ある、つ、つぐ♡ ぼくんマンコにガン勃ちメスマラぶちこむ、ぞつ♡ んふつ、せ、せ～の、ばーんつ♡

☆当然ながら、乾燥したティッシュの感触だけが伝わる。それでもおねえさんは自らの局部をぞわぞわと取り巻く疼きに、痴れた笑みで舌をはみ出させてしまう。

(18:14)

ありえ～♡ えへ、えつ♡ ありえりえつ♡ ぼくんのショタマンコお♡ がさがさいって変なお、お、お、マンコおつ♡ はあ、～つ、精巣みちみち縮んでキツ、いつ♡ うお、イ、ぎつ♡ 私つ、私何してるんだろう……う、へへつ♡ ぼくんでチソ勃ててシコってるに決まってん、だろお～～つ♡ うお、おお、きもちつ♡ 脂っこいザーメン染みこんだティッシュに孕ませ腰振ってちんちんの棒まっすぐびーんつ♡ って勃起つ♡ カリ首分厚い肉オストチソヘこへこ勃起ぎもちい～つつ♡

☆おねえさんはあまりにも濃い情欲に塗り潰された言葉を吐き、その淫猥さを肉幹の膨張で表す。喉をねじる断末魔とともに、おねえさんは絶頂を迎える。

(19:09)

うおヤベっ♡ ぼくくんマンコ一生懸命肉棒でかき混ぜてい、つぐ、ぞおつ♡ ふ、う♡ カウパーでふやけたティッシュにまたザーメン無駄撃ちする、う、つぐ、マンコとゴミ袋の区別つかないキンタマ脳精子出すぐらいぐ、～つ♡ うあ、つは一つ♡ ぼくくん、ぼくくん出すぐつ♡ おねえさんの動物くせえ睾丸ぶるぶるゼリーでおなかいっぱいにするぞ、うおほおおつ♡ お♡ 種出るつつ♡ でけえの出すキンタマひっくり返、るういぐつ♡ ぐ♡ 出すっチンポ汁ぶっこく出す出す出す、ううぐうううう♡

☆おねえさんは爛れた空想にとろけた声で、ゴミ袋の中に放精してしまう。ペニスは本当に性交をしているようにいななき、そのたびにおねえさんに下品な嬌声を出させる。

(20:03)

お~つ♡ チンポ♡ どぴゅうう～～つ♡ うふつ♡ ううう♡ ゆるゆるチン穴めくれ射精つ♡ しゃ、せひつ♡ ザーメン濃ゆすぎ、るっ、う♡ こんなんもう固体だろみたいなキンタマまるごと搾り汁、つ♡ 種汁高圧噴射♡ とつ、届かないい♡ ぼくくんオマンコの奥に届ける前に激重精液ばとばと垂れる、つは、はあ、あ~つあつ♡ 自前のせーしにせーし♡ ぶっかけて、イぐつ♡ 変態お姉さんのゴミ袋マンコ中出し射精、うおまた、つひつ、でりゅう~つ♡

☆波が収まると、おねえさんは目頭に涙さえ浮かべて息をつく。精を吐き終わり、奇妙な硬さを保ったペニスの熱さのまま、腰を揺らす。

(21:07)

.....あ、あ、チソ先、ねとねと粘っこい汁、カメさんに絡みついて、えひひ、クッソキモい感触う♡ うふつ、見て、ねえ見て、ぼくくん、おねえさんこんなにオスとして強いよ♡ ただでさえチソ臭かった玄関、もう完全に新鮮キンタマミルクの青くせえ香りでいっぱいになっちゃったあ.....ぼくくんめっちゃシコれたああ♡ あ、あ～～.....♡ なんでえ、これぼくくんのマンコじゃねえんだろうなあ～♡ なんでこんなに強えデカマラがゴミ袋なんかと嘘セックスしなきゃいけねえんだよ、ああ！？

☆おねえさんの声に宿り始めた凶暴さがふと鳴りを潜め、代わりに必要以上の猫なで声が漏れ聞こえる。かえって狂気を感じさせる静かな声音で、おねえさんは薄くほほえむ。

(22:01)

ふふつ、な～んて、えへ♡ ぼくくん♡ ぼーくくんつ♡ おねえさんさあ～～.....おちんちんの先っぽがちゅくちゅく疼いて切ないのぉ♡ ぼくくんのお尻はどう.....犯す♡ おねえさんが犯してあげなきや♡ はあ♡ つ、はあ～.....♡ ぼくくん♡ ぼくくんは夜、おやすみするとき、お窓の鍵かけてないでしょ、おねえさん知ってるよお.....えひひつ♡

第3話 おおきなこえをだしてたすけをよぶ

☆安らかに寝息を立てる「ぼくん」の部屋の窓からおねえさんが入ってくる。静かながら迷いのない身動きで服を脱ぎ捨て、「ぼくん」の背側から布団に忍びこむ。

(00:12)

うわ♡ かわいいぼくん♡ 寝てる♡ ぼくん頭おかしくなるくらいかわいい♡ ああ.....つ♡ 我慢、しないと、なのにつ♡ ぼくんの寝息オカズにしてチンポさすさすしたい欲つ、オス、欲う、んふつ、でもそんなこと、より、お服つ、ぼくんの目の前で、お服脱いでぶつといオチンポぶら下げた裸見せちゃう、んしょ.....はだかんぽつ♡ そしたら、今度はぼくんが寝てるおふとんに、近づいて.....もうこんなに近くにぼくん、おふとん背中側からめくってえ.....ぴたつ♡

☆おねえさんは素性を伏せるためか、声をひそめて侵入のあいさつをする。「ぼくん」がぼんやりと意識を取り戻した頃には、すでに全身をおねえさんに抱き締められている。

(01:21)

うわ、体温高あ.....♡ あつ、ぼくん、って呼んだらバレちゃうかな♡ えっと、ぼく、こんばんはー.....起きた？どうしたの？ びっくりしてる？ あ、動いたり、声出したりしたら、ダメだよ♡ あやしい人じやないから、ほら、ぼくのお母さんに頼まれて、おねえさん.....おねえちゃん、来たんだよ♡ あ、だから、動かないで、って.....んつ♡ もう、ぼくのえっち♡ ぼくが動くと、ぼくをぎゅーってしてるおねえ、ちゃんの、あ♡ おっぱい、ふ°につ♡ えへ.....おねえちゃん、はだかんぼなの♡

☆「ぼくん」の耳元に、吐息まじりの声を流しこむおねえさん。おねえさんは自分の煽情的さに気づいていて、反応してしまう「ぼくん」の身体に手を伸ばす。

(02:34)

ほら、見えるでしょ、あそこ、おねえちゃんの脱いだお服.....そう、おっぱい、ぼくのお腕にたゆたゆたゆ♡ 押しつけちゃってる、あったかくておまんじゅうみたいに柔らかい、おねえちゃんの、お・っ・ぱ・い♡ ふー.....あつ、ぼく、息がはあはあしてるね♡ そしたらこっちも、ぼくの、おへその下、両脚の真ん中、さわさわ.....きゅつ♡

☆おねえさんは息を詰まらせる。「ぼくん」の言葉と連動して身じろぐ小さなペニスの脈に、おねえさんの本性が一瞬顔を覗かせる。

(03:44)

あ、ぴくぴく♡ ぴく、ぴく.....ほーら、ぼくの得意技♡ おちんちんおっきく膨らませてぴくぴく♡ おねえちゃんのおててに包まれて、またかっこよ~く、ぴくくっ♡ う、お°♡ ぼくんの生ボッキつ♡ 勃起してもちっせえやわらけえかわいい°、～♡ んふ、っ♡ ぼく、っ、でもそれだけじゃないで

しょう♡ ぼく、毎日おちんちん遊びしてるよね♡ お母さんが言ってたよ、ぼくがおちんちんいじいじして、気持ちよくなつて……ぴゅ——♡ ってしてて恥ずかしいです、って♡

☆まだ幼い「ぼくん」の羞恥心をくすぐる、おねえさんの甘やかな声。舌先にもたつく唾液が、吐息にまでねちっこさを感じさせる。

(04:41)

恥ずかしい？ おちんちんで遊ぶの、恥ずかしいのは知ってるんだあ♡ つは、あ～っ……どれがいちばん恥ずかしいの？ こっそりおぱんつ下ろしておちんちん剥いたり戻したりしてははずなのに、ばれちゃうこと♡ おちんちんから何も出てこないのに、ぴゅ——、って言うともっと気持ちよくなっちゃうこと♡ はあ、あ♡ それとも……！ぼくが、今も♡ あつたかいおねえちゃんの感触で、ぴんぴんになっちゃったおちんちんで遊びた～い♡ って、頭いっぱいになっちゃつてることお……♡

☆おねえさんは「ぼくん」の密やかな罪を暴き、喉を鳴らして悦に浸る。自らの思うままに発情する小さな身体に、忍び笑いがこらえられない。

(05:46)

……いいよ♡ おねえちゃん、おめめつぶっておいてあげるから♡ ぼくくんがおちんちんさわさわし始めちゃっても、絶対に気づかない♡ ほおら、ズボン下ろそ？ おぱんつ脱いじゃお♡ おちんちん……握っちゃえ♡ ん、つ♡ ひひつ♡ えっちな声出しちゃっても、おねえちゃんは聞いてないよ♡ ごしごし、ごしごし……ん～～♡

☆しばらく優越感に浸って「ぼくん」を見下ろしていたおねえさん。しかし、股ぐらでうねり始めた狂熱に耐えきれず、怒張したペニスを差し出してしまう。

(06:38)

えへ♡ 見て見て、これ♡ ちっせえ身体丸めて股間にむしゃぶりつくみたいに、必死に自分のちんちんダメにしてんの、これ私が教えたの♡ このガキ、頭からっぽでチンポしごいて、バカじゃん♡ ばあ～か♡ 頭からっぽ、気持ちよさそ～、に……気持ちいい、バキバキのオチンポ、おしり、まんまるのおしり、絶対、あ^♡ あつ♡ あ～～……♡

(07:30)

……つ、ぼく♡ 一回おちんちんやめよっか♡ ぼく？ ……おいガキ♡ チンポから手え離、せつ♡ あつ♡ おちんちんごと身体びくんっ♡ ってして♡ ふー♡ ふう、～♡ あのね♡ ぼくのおちんちん遊び♡ ダメ♡ 失格♡ そんなのしてたらおちんちん取れちゃうよ♡ だから、おねえちゃんが正しい、えつ、ちつ♡ 練習させてあげる、ふふつ♡ ほら、お尻下げて、太ももの間から、にゅるう、～つ♡

☆おねえさんは突き出したペニスを「ぼくん」の柔肌に擦りつけ、鼻息を荒くする。腰を引きつらせ、肉竿は硬直する。

(08:22)

うお``、っ♡ ぼくんあつたけ、っ♡ チンポで感じる体温格別、っ♡ ほっ、ほら、おねえちゃんの極太棒状チンポお♡ ぼくのお股から飛び出しちゃった♡ えつ♡ え～～つ♡ 女の子だよお♡ おねえちゃんは、おっぱいもオチンポもついてるきもち一メスチンポ女、なのお、おほつ♡

☆おねえさんは「ぼくん」を自らの胸に強く押し付け、妖しい色香の声で直接的に性交を誘う。「ぼくん」が知らないのをいいことに、一方的な合意を取り付ける。

(09:01)

……おいガキ♡ ヤろっか♡ ヤろ♡ ヤるぞ♡ セックスすんぞこのオスガキ♡ あ？ どうせお前セックスなんて知らねえだろ♡ な♡ おねえちゃんがセックス教えてやる♡ ぼく、気持ちいいの好きだよね～♡ セックスとってもきもちいいよ♡ セックスさせてくれるって言ったら、ぼくのことやさしく食べてあげる♡ ヤろ♡ ぼく♡ うなずこうね♡ セックスしてください♡ って♡ ほら、うんつ♡

☆おねえさんの豊満な身体の上に引き揚げられてしまうと、「ぼくん」は浮いてしまって逃げられない。絶対的優位を確信したおねえさんはますます強欲になる。

(09:57)

わあい♡ 処女マンコ騙して性的合意もらっちゃった♡ じゃあ、セックスの姿勢になろうね♡ いい？ おねえさんのおっぱいにふに～♡ って抱っこされたまま、いつしょにごろんってして、あおむけでおねえちゃんのお腹に乗つかっちゃう♡ おねえちゃん力つよ～いから平気だよ♡ はい、二人でえ、ごろ～んつ♡

(10:33)

ぼ～く♡ おねえちゃんに乗っかかるの、どうかな♡ すごいね♡ おねえちゃんの身体柔らかいお肉ばっかりだもんね♡ ケーキみたいな甘いにおいでおふとんいっぱいになって、たぷたぷおっぱいの上に寝つ転がっちゃって♡ おちんちんぴーんってして元気だね♡ セックスしようね♡ うんつ♡ ん？ んー……セックス……セックス……らぶらぶ、レイプ♪♡ んお``♡ キンタマズしつ♡ っておっもいのきた、きたあ、あは♡ レイプ♡ レイプにしちゃお♡ ぼく♡ レイプしていーい？ ……うんつ♡

☆「ぼくん」に挿入の体勢を整えさせ、痛いほど口角を引き上げるおねえさん。抑えがちな吐息が、その裏の邪なたくらみを見せる。

(11:29)

ほらぼく、足を持ち上げて、お膝を曲げて……おちんちん見せびらかすみたいに、ぱか一って足を開いてね♡ 大丈夫♡ おふとんかぶってるから、ぼくのおちんちんはおねえちゃんだけの秘密♡ はい、ぱか一つ……♡ そ、れで、ぼくが逃げらんないように、ショタっ子の肉のついた身体、ぎゅう～～♡

☆おねえさんは情欲にべとついた艶笑を噛み殺し、「ぼくくん」の耳元で種を明かす。狂気を交えた乾いた声が、「ぼくくん」の抵抗を許さない。

(12:10)

わっ♡ ぎゅーしたらぼくのお耳とおねえちゃんのお口、こんなに近あい♡ えへへ♡ ありがと～ぼく～♡ おねえちゃん実はね～、不審者のおねえちゃんなんだ……ね～、こんなふうにショタケツガッ開き体勢までして、そんなにおねえちゃんにレイプで処女散らしてほしかったんだあ♡ ね、わかるよね、肛門ぐりぐりしてるの、おねえちゃんのはんぱん亀頭♡ い一かげん気づけ？ お前、今からケツ、お尻の穴にい、優しいおねえちゃんのメスチンポぶちこまれんだよ♡

(13:11)

おほ♡ あ～～ほんと大人の力で惨めに犯されるガキ穴の呼吸聞いてるだけでつ♡ とろとろ完熟キンタマ煮えくり返ってヤベえんだわ♡ はい黙れ～♡ ほらおててでお口塞いじゅう♡ うわこれレイプじゃん♡ んお♡ ケツの間でチンコびきつ♡ ってしたのわかったあ……？

☆四肢を絡めた拘束の緊密さを確かめると、いよいよおねえさんは腰を突き出す。最も苦しいであろう挿入に備え、ペニスは嗜虐の色にいきり立つ。

(13:45)

ん`、つ♡ じゃあチンポ挿れるね♡ はあ、つは一つ、やあ、つべ♡ あ、あ～……ぼく、くんと、とうとう一つになっちゃうう♡ おい♡ 脚閉じようとしたってムダだぞ♡ おねえさんのふつとい足首でぼくくんの足首押さえちゃってるから♡ 二人でカエルさんみたいにひっくり返ってチンポぶっ挿すんだよ♡ ほら、力入れたら苦しいよ？ ケツ穴♡ 指も舌も入ったことない新品ケツ穴♡ 周りのお尻の肌と全然変わらない、さらっとした手触りなのに、ぼくくんのねとねとおなかマンコに続いている皺穴♡ いただきまあす……つ♡

☆「ぼくくん」をいたぶり、心の底からの喜悦をこぼすおねえさん。ペニスが菊穴に突き立っていくと、締めつけの強さに息を吐く。

(14:57)

う`♡ う`、つふ♡ っん`♡ ほらもう肛門つ♡ ガキ膣穴広がってる♡ めりめりめり♡ って、でへ、え`♡ みずみずしいピンク粘膜で、チンポの、うお、つほつ♡ 味知っちゃって、あつ亀頭、入ったあ、うふふ、♡ うー、うー、っておねえさんのお指に切ない呼吸が当たって、苦しいかガキい♡ くる、つぐ、苦しいよな、ああ♡ だっておねえさん♡ はじめてアナル食っちゃうの初めてだもん♡ お尻掘削童貞、んう`♡ ぼくくんにあげちゃうって思うと、ごんぶとチンポ幹がぶくぶく、太くなつてえ、ずぶ～つ♡

☆おねえさんは獣じみた呻きとともに、羽交い締めのまま、暴力的な挿入を遂げる。肉幹をぐいぐいと尖らせて、淫猥な感覚にむせぶ。

(16:03)

.....あ``嘘、お、はいった♥ デカチンほんとに、全部入っちゃつた、た、あああ♥ しゅつ、しゅげつ、しゅげえ狭、ひい、い``一つ♥ ぼくくんの食べ頃実物処女アナル、今まで想像でヌきまくったのの百倍っ♥ みっちみちに、んぐつ♥ 肉詰まって、ちんちんぐぐつ♥ っと勃起するだけで、腹ん中あ♥ あつ、あ``なんかにちゃにちゃする肉がサオに絡みつい、てひつ♥ レイプしてぼくくんのナ力で勃起すんの、きも、っちい♥ うあ``～～♥ ぼくくんと、合体、っひひひ♥ しゃ、つたあ♥

☆ペニスの凶悪さとは対照的な慈愛に満ちた声で、「ぼくくん」に喋りかけるおねえさん。自由なほうの手で「ぼくくん」を撫でながら、その誇りを傷つける。

(17:02)

おら、どーすんだよ、ガキっ♥ ふ、んぐぐつ♥ っはつ♥ なっちゃつた～、ぼくくん、まーんこ♥ マンコっ♥ マンコって知ってつかあ♥ お前のことだよ♥ んふ、つ♥ お前みたいに、力づくで押さえつけられてチンポねじこまれて♥ 極悪カリ高ぱんぱん肉棒メスチンポケースになっちゃうザコのこと♥ そーらザコ♥ ガキは身体柔らけえもんなあ♥ 骨盤開いてケツ穴内側から広げちゃう♥ はあ、はあ、お腹から息を吐いて、少しでも苦しくならないようにしちゃう♥ どんどん立派なマンコになってんだよ、おお、お``♥

(18:01)

ありがと、うふ～～つ♥ うあ♥ おねえさんの、ためのつ♥ 専用チンポ入れ穴♥ になってくれ、てへえ♥ んつ♥ いい子だから撫でてあげる♥ なで♥ なで♥ こんな情けない子、おねえさん大好き♥ クラスにもいないよお？ ん``♥ 大人のオス生殖器でショタケツごりごり広げられちゃってる子♥ ぼくくんは今日から、んつ♥ 軽い気持ちでチンポ挿れちゃった、掘られちゃったマンコ穴♥ お尻につけてる恥ずかしい子、うふん、～つ♥

☆おねえさんは獲物を弄ぶ肉食獣の余裕で、「ぼくくん」の抵抗を突き崩す。腕のうちで縮んで震える小さな体躯に、情愛と破壊衝動、相反する気持ちが湧きあがって笑う。

(18:57)

でもぼくくん、男の子が、おケツ穴マンコにされちゃつたよ～♥ ってめそめそてるだけでいいのかな.....出せ♥ 出しちゃえ♥ 女のチンポなんかに負けないぞ♥ ってえ、ケツ踏ん張ってチン棒押し出せ♥ お腹の奥に力、トイレするときみたいに、ん~って入れて、ん、お、おほ♥ おっ、追い出されちゃう♥ 肛門から、ナ力のお肉ごとむにゅむにゅはみ出て、チンポも抜け、抜け.....抜け、ないつ、ずぶぶつ♥ う``♥ はいムダ～♥ アヘオホ生オナホ野郎が生意気なんだよ♥ んふつ♥ またケツ掘られちゃつた、ああ、つ♥

☆抽送を助けてしまっていることにも気づかない「ぼくくん」を嘲笑うおねえさん。細く息を吹き出しながら、肛虐に歪んだ下腹に手を伸ばす。

(20:00)

ほらがんばれ♡ も、一回つ、つはつ♡ 腹筋こわばらせると、ドス黒チンポがにぢにぢ押し出され
て、ふん“つ♡ ずぼつ♡ 出して♡ 入れて♡ 出して、はあ～♡ おねえさん、またぼくんにセック
スのお手伝いしてもらっちゃった、あ～♡ おらっ♡ これがセックス、つだつ♡ むりゅ♡ とチン
ポ産んで、めくれたナルロ、ごとつ、うん“♡ 直腸ん中に押しこまれて、ついでにケツ奥亀頭で
ボコボコにしてやる♡ 排泄快感ず～っと続いて絶望しちゃってきもちいね、ぼく、くん“♡

(21:01)

腹筋ザコだからケツの内側から押し上げられて、ほら、なでなでしたら、ああ……あ～♡ ここまで
ちんちん入ってます♡ って、ぼこお♡ ってお腹、盛り上がってんだよ♡ この淫乱便器が♡ ん
“♡ あ～あ、ぼくんみたいなザコに生えてるせいで使い道ないおちんちんさん、かわいそうだ
なあ♡ おちんちんごとお腹、なで、なで……って、あれ、あれ♡

☆勃起している「ぼくん」のペニスに触れると、おねえさんの唇から下卑た笑いがこぼれる。静
かな怒りを帯びた囁き声と、含みのある笑い。

(21:41)

あへえ♡ えへ♡ あへへへ、つ♡ つあ～……おいガキい♡ お前のチンポ、元気いっぱいピン立
ち～♡ なんだけど、どういうこと？ はあ、～♡ マジか、マジかマジかつ♡ こいつ掘られてチンポ
勃ててやがるつ♡ ねっそれって、おねえさんがレイプ上手ってことお？ それともおねえさん、び
きびき女チンポにケツほじ食らうのが夢の変態マゾショタ野郎に、メス臭むんむん肛門鼻先にぶ
ら下げられて誘い受けられちゃった？ うふ、うふふ、うふふふ、つ……ムカつくんだよガキ♡

☆おねえさんはほがらかに「ぼくん」を脅迫する。穏やかでない想像を一方的に押しつけ、ペニ
スを動かす。

(22:37)

ぼ～くくん♡ 犯す♡ んひ、つい“♡ うぐ♡ だって、おねえさんがぼくんレイプの練習してたとき
はぼくんが喜んじやうなんて思ってなかつたもん♡ あ～、犯す、犯す、レイプ被害者のぼくん、
泣き叫んで氣絶しちゃうはずだったんだもんつ♡ ああ～、こんなの、またオチンポごつごつオスの
形になっちゃうよお、ケツパコでぼくんの消化管どろくちよにかき混ぜちゃうよお♡ お前が悪いん
だからなあ♡ せいぜいみつちやいチンポ勃てて興奮してろこのビッチ穴♡ おらいくぞ犯すぞ、
レ～イプつつ♡

☆擦れあう性器どうしの立てる水音が一段高いものになる。優しいおねえさんの手つきと強姦者
の抽送が、背反した悦情をかきたてる。

(23:29)

ふう“♡ んつ♡ んん“、つ♡ おっこれこれ、ええ～つ♡ ドデカいねつとりタマ袋だぼだぼ振り回
す勢いでハメ、つ、ハメ、んおつぎもちつ♡ ちい♡ がき♡ くそがきちんとぽあな♡ 穴、あつ♡ あ

おおお♡ チンポにかけてえ芯が通、るう♡ おらガキお前もちゃんと想像しろっ♡ お前の直腸折れ曲がったところっ♡ どちゅつ♡ どちゅつ♡ 尿道穴とケツマン粘膜がチュウしてネバ汁糸引いてんぞっ♡ んお～っ♡ あ、あはっ♡ 考えたらオマンコきゅう～♡ しちゃう、ねつ♡ もっと締めんだよマゾ便器、いいひつ♡

☆おねえさんは「ぼくん」にどこまでも屈辱的な所作を強いては咲笑する。「ぼくん」の存在を掌握している全能感で声が上ずる。

(24:26)

おらおら、あつ、あ♡ あ♡ あ～あ♡ お口塞いでるおねえさんの指がぼくんのよだれでべちょべちょ♡ 肛門ひっくり返されて喘いでるぼくんの、つ、きたねえんだよっ♡ おら舐めろっ♡ チンポだと思って一本一本丁寧にしゃぶれ、んん、う♡ ……うわ～ぼくん指ペロペロもへたくそだあ♡ 口のまわりまでぜ～んぶ、べと、べとっ♡ おい♡ ケツもつ、おほ、うつ♡ ケツ汁もそんくらい出して♡ チンポに奉仕する気持ち見せなきや♡ 出せ、え～へっ♡ つゆだくマン肉でチン竿しごけ、え♡

☆おねえさんはふとうつとりと瞳を蕩かして、「ぼくん」に耳打ちする。火照っているのに冷たい声色が、「ぼくん」の身体を硬直させる。

(25:25)

うお、うお～、つお♡ ほ、ほっ、あは、はあ……ぼくん、お指にちゅ～って吸いついて赤ちゃんみたあい♡ つん♡ お耳、借りるね……あ～かちゃん♡ おねえさんのぶっとマラでケツずぼぱんぱん♡ されて、うぐつ♡ うふ♡ い～～っぱいいやなことされてるのに、言うこと聞いて指まで舐めさせられてる♡ 上でも下でもおしゃぶりザコあかちゃんのぼくん、にい♡ つあ、あ～～♡ おねえさんお願ひがありま～す♡

☆あくまでまことしやかに、「ぼくん」を嘘で汚染していくおねえさん。暴力を匂わせる言葉遣いが、「ぼくん」の耳元で弾ける。

(26:16)

ほらここ、マンコぎゅうぎゅうで苦しくて、なのにぐぐーーーっ♡ って勃起してるぼくんのおちん、ちん、んん～♡ ……ムカつくから取っちゃっていい？ いいよね♡ ぼくんのおちんちん、おねえさんが取ってぽいってゴミ箱に捨ててあげる♡ だめー、いらないも～ん♡ おねえさんとえっちなことするのにはデカチンずっぽりくわえちゃうオスガキおけちゅ穴だけあればいいもんなあ♡ ……ほら、きゅつ♡ ああ、もうおねえさんにおちんちん握られちゃった♡ おちんちんさんにバイバイして？

☆「ぼくん」の思考が追いつかないうちにまくし立てるおねえさん。耳穴に舌を滑りこませ、未知の快感でまた「ぼくん」を前後不覚にさせる。

(27:14)

ウソじゃないよ？ あのさあ、でっかいオスちんちんが生ゴミマゾちんちんに言うこと聞かせちゃうのなんて簡単なんだよね♡ ぬるぬるオス穴とん、とん、ってしたら裏っかわからちんちん切なくなっちゃうでしょ♡ それに合わせて、お耳に直接う、んくちゅ、んれるう、ん、つふ、おちんちんさん♡ 取れてくださ～い♡ とん、とん、ぴちゃあ、つぶあ♡ あ……ぼくんに言ってないから♡ 今おねえさんおちんちんに直接お願ひしてるからマンコは黙ってろ？

☆おねえさんは声を潜め、「ぼくん」の耳介の上で直接唇を動かすようにして、不穏な言葉を連ねる。やりとりから「ぼくん」を疎外することで、幼い心を不安に陥れる。

(28:20)

とん、とん、んむ、くちゃ、ずる、う～つ♡ あつ本当に、おちんちんさん取ってくれるんですね♡ ありがとう、はあむ、ふちゅ、んぶ、ぶつ♡ ガキ喘ぐな♡ うるさい♡ へえ♡ お尻の奥ずんつ♡ ついたらちんちんなくなっちゃうってさ♡ おねえさんが棒のところつまんで、ずんつ♡ っと一緒に引っ張ってあげるね♡ はあ～いちんちん取ろうね♡ ダメ♡ 取る♡ んむう、つぶちゅ、じゅるるんつ……ほらお耳から♡ ちんちんなくなっちゃうの理解しちゃう♡

☆おねえさんは息を吸うと、一際腰を強く打ちつける。当然ペニスに変化はないが、「ぼくん」の絶望に満ちた表情におねえさんは、耳をくわえたまま悪辣に笑む。

(29:27)

くふつ♡ ちゅふふ、んあ、ちんちんぽいっ♡ とん、とん、ちんちんさようなら～♡ ずんつ♡ だよ♡ ずんつ♡ ぼくん、ずんつ♡ つでえ、ぴちゅ、んるる、むあ、あぶつ♡ おちんちんさんばいばい♡ ああ～～マンコが怖くて縮んで、お“つ♡ チンポに絡みついて、え“つへへ♡ いくぞガキ♡ チンポもぐぞ♡ かぶつ♡ しええ～、のぉ、じゅうんつ♡

☆しばし、唾液のねとつく音と呼吸だけが聞こえる。おねえさんにたついた声で沈黙が空け、おののく「ぼくん」は少しも心休まる暇がない。

(30:16)

……つふ、う～、う、う“つ♡ ん、じゅるう、ぼく～ん♡ ちんちんあるかな～♡ 取れてないね～♡ よかったね～♡ ふつ、ふふ、ふふふふつ♡ うわ、ひつでえ顔♡ は～……マジで、うつ、うう♡ 何も知らないガキ相手に適当な嘘ついて怖がらせながら犯すのキンタマグツリまくってヤベ♡ おつおつお、～～つ♡

☆おねえさんは軽く肛口をかき混ぜながら、乾いた声で「ぼくん」のさらなる恐怖を誘う。ペニスはおねえさんの言葉を裏付けるように、みちりと張り詰める。

(31:05)

ごめんね～ぼくくん、おねえさん嘘ついちゃったあ♡ よかったよかった、おちんちんさんおねえさんに取られちゃわなくて嬉しい～♡ だって、っあ、う、ん……ふにふになおけちゅ♡ で、えっちなことしちゃう悪いぼくくんでも、おちんちんぶら下げてていいんだもん、ねえ♡ だけどお、お、おつ……やっぱり、クソガキぼくくんのおちんちんは取れちゃいます♡

☆おねえさんの低くかする声が、「ぼくくん」の口答えを許さない。落ち着いた調子とは裏腹、抽送は重く深く、強直する尻窪を無理に突き広げていく。

(31:43)

……ぼくくんが何考えてたか当ててやろっか♡ おねえさんのぶつといお肉マラ、初物キツキツケツマンにぶちこまれて、こう、やつ、てえ、ずぼつつ♡ つふ、一つ♡ 掘られちゃうから、ひ一つ♡ 苦し、い“つ♡ ってなって、もうおちんちん負けました♡ ぽろっ♡ っておちんちん取れちゃうの正当化してたんだろ♡ はあ……～♡ なにおねえさんのせいにしてるワケ？ てめえのケツがオスと見ればどんな竿でもくわえこむがばがばビッチ穴なのがわりいんだろう？ ずぼつ♡ ずぼつ♡ ずぼつ♡ ってさああ♡

☆形を変えて繰り返される恐怖に、「ぼくくん」の菊穴は否応なく縮み上がる。おねえさんはペニスで反応を敏感に悟り、ひそかに舌をなめずっては都合よく要求を突きつける。

(32:56)

ん“♡ ふ～～つ♡ う“♡ そう、いうつ♡ 脳みそがマンコ墮ちした淫乱オスガキオナホのちんちは、うう、っん、っくつ♡ おねえさんがもいでやんなくたって、あははっ、勝手に取れちゃうんだよつ♡ 自分から♡ おしりのほうが気持ちいいからザコおちんちんとかいらな～い♡ って、つふ、ふう“♡ んぐ、う、お♡ こ～んな膣ヒダにににに“つ♡ ってせり出して亀頭舐め、ちゃううつ♡ ような、つあ“つ♡ できあがってるほかほかマンコくっつけてるような、やつ、はあ♡

(33:54)

あ……でも、お♡ おちんちんちゃんと男の子♡ になれたら♡ ちんちん役立たずじゃない♡ っておねえさんに見せつけられ、たらあ♡ くあ、つあ、～つ♡ 大丈夫、かもしれない、え、っへへ♡ あ、へえ“つ♡ どうする、なんて、つはつ♡ 決まってん、だろおお♡ つじゅるう♡ ちんちんがいちばんオス♡ になっちゃう瞬間つ♡ ん“♡ ぼくくんの大好きな、ぴゅーー♡ 真っ白おしつこほんとに出してちんちん許してもらう、んだよ♡

☆喜色たっぷりに雄膣を犯すおねえさん。感点を執拗に擦り上げ、尻とペニスの両方に支配を及ぼす。

(34:48)

ほら、あつ♡ ここ、だろうがつ♡ おっケツ締まる、んつ♡ お～ケツ締まる、つぐぐつ、こう、もん“つ♡ きゅ～～♡ って縮めちゃうくらいのケツマンコオススイッ、チい♡ いひ、～つ♡ 一発逆アナ中毒粗チンのくせに裏側、ケツ、ん中つ♡ ぶどうみたにぱりつぱりの直腸肉、うぐぐ、うふ～つ♡

ここ掘られると、おほ、ほつ♡ って声出て尿道の奥がじんじんして♡ いい感じ？ ぴゅっ、ぴゅ
ふう♡ できそうかなっ♡

☆おねえさんは強引に取り付けた「ぼくん」の許可を大義名分にすり替えてしまう。ペニスから溢れるカウパーが粘度を増すほど、おねえさんの口舌もねちっこくなる。

(35:38)

じゃあお願ひ、しよっかつ♡ あはは、ああ、つ♡ ぼくんちんちんショタケツアクメで没収～♡
っ、されちゃわないようにケツほどち♡ ってくれ、りゅ♡ おねっ、おねえさんにもっとちんちん
裏のぴゅっぴゅボタン♡ デカチン硬亀頭で押してください♡ って♡ んん♡ ぼく、の、トロマンつ
♡ あおむけだっこマゾケツ掘り掘りレイプ♡ してください♡ ってかわいくお願ひしろっ、おらつ♡
……あ～～っ！？ 何言ってつかわかんねえっつの、肛門ばっかぎゅ一ぎゅ一させやがって、
おつおおお♡

☆おねえさんは凶暴さを露わにする。「ぼくん」の絶頂ごと、幼い身体をねじ伏せて腰を震わせ、荒く息をつく。

(36:27)

うお、っ、うお♡ おらぼくっ♡ キンタマ上げろっ♡ ちんちんひとつも触らずにつ♡ 生肉便器
オナホ穴ずっぽずぽおねえさんの形に拡張されるメスの悦びでキンタマハートマークにしろ、うう
う♡ あ～～睾丸きゅんきゅんするつ♡ レイプしちゃう、くらいいつ♡ 大好きなぼくんがおねえ
さんのびんびん黒マラおけちゆでだっこして精通してぐれりゅ、つ♡ つ♡ おつおつおねえさんも
びゅう♡ ってする♡ 熟れデカケツにえくぼ浮かべてぼくんつ♡ ぼくんのナ力で精通、っす
りゅ、ん♡

☆視界すら塗り潰すほどの絶頂感に、言葉はまとまりを失う。おねえさんの口からは、ただただ汚らわしい愛欲が先汁以上の勢いで溢れ、頂点に達する。

(37:17)

あああ精通、せい、つうつ♡ こんなのきもちいすぎて犯罪すぎりゅ、つつ♡ う～つ♡ ん♡ お
らいけばくっ♡ ふへ、ええ♡ おねえさんが膝伸ばして仰け反り絶頂体勢ぴーんつ♡ しちゃうと
ちっせえぼくん浮いちゃってケツ掘られてもちんちん穴ぱくぱくさせるしかできないザコガキまん
こ好き好き精通♡ 精通♡ ケツ掘られて精通ケツ掘って精通、う、う、うつ♡ ちんちん二本とも
棒つ♡ オスつ♡ あつい、ぐぐつ♡ イケつ♡ イくぞ一緒にザーメン漏らすぞつ、おおお♡ つ、びゅう
う～～～つ♡

☆ひとりわ強大な快感が尿道を通り抜けると、おねえさんの臀部が布団に落ちる。股間ばかりを硬直させ、虚脱した喉から間延びした声が漏れる。

(38:06)

ん`♡ う`♡ ふ、つぐうう、つあ～～つ♡ あ、つあつあつ、チンポ溶け、てりゅ、ケツマンコ、ナカ、で、どろ、どろ……力、抜けて、おふとん、にい、どすんっ♡ ふん♡ ふんっ♡ ってチン竿ビキつさせて本気オスイキするのも好きだけ、どお`♡ おっ太いの出た、あへへっ♡ こう、やってぴゅー♡ ぴゅー♡ って我慢できない尿道お精子ションベン漏らしまくるのも好き♡ ぎっ♡ あ、つでも♡ ぼくくんのとろとろマンコ粘膜♡ 生コンドームにして、はじめて中出し♡ だから、なんでもすき、い`ひつ♡

☆おねえさんの声からは、すっかり毒気が抜けている。なのにその言葉は不穏で背徳的な響きに満ち、またペニスを太くする。

(39:20)

ふ、～～……こんな、幸せどほどぼ射精しての場合じゃない、のにい♡ ぼくくんのあったかおけちゅ♡ の奥に♡ ん`♡ 脂っこくせえ処女マンコレイプの証拠♡ キンタマ煮詰まりクリーム体液大量に残しまくっちゃってる、のに♡ ちんちんオスにして突っこんでおめめちかちかアナ掘りアクメ♡ んぎっ♡ キメまくっちゃってるの、見つかったら捕まってぼくくんと離れ離れ、なっちゃう、のにつ♡ 尿道バカになっちゃって、止まんねえ～……お`っ、お～っ♡

☆「ぼくくん」が射精しているのを見つけた途端、言いようのない高揚感に見舞われるおねえさん。侮蔑をこめた声で祝福する。

(40:14)

あ～、つ、ぼくくん、ぎゅーしちゃお、ぎゅ、う……あれ、ぼく、くん、おちんちん、おちん、ちん♡ お腹のどこに、白いのが飛んでる、ひ、ひひ、ひひひひっ♡ ふひっ♡ ぼくくん精通♡ 精通しちゃった♡ 精通精通精通、う、うう`、つん♡ こいつ未使用ケツマン掘られて一発精通しやがったぞ、おいおいっ♡ ね～ぼくく～ん♡ おめでとう、ねえ、あえ～、れる、れる♡ 溜めこんだ男の子汁う、マンコ突かれてトコロテン♡ ケツからチンポお漏らしするの勉強しちゃった♡ うわ～、マゾっ♡ んぴちゃあ♡

☆おねえさんは身体をもぞつかせ、常軌を逸した行動に出る。自失した「ぼくくん」になど構わず、ただただ自分の獸欲を満たして低く笑う。

(41:38)

んぶ、くちゅ、ちゅあ……えへ、それじゃぼくくんのはじめてチンポ汁、お指ですくってえ、すん、すん……おつおつ、これ、え`つ♡ このオスの自覚足りないケツイキ臭、たまんねつ♡ はあ～マンコ疼く、うふん♡ ねつ♡ ほら♡ ぼく、くん、んふふつ♡ この、ぼくくんのたまたまさんが作ってくれたお汁、どこに行くのかな♡ 縮みっぱなしの汗だくタマ袋めくってえ、おねえさんのメスくっせえマン汁穴に、ずぽつ♡ んう、ん♡ いい、っ、これ、お嫁さん声出しながらぼくくん精子でマンズリカくの、好、つき、い`♡

(42:46)

ふつ、ふ、うう♡ これ、でえ♡ ぼくくんもおねえさんのことレイプしたのと同じだからねっ♡ ぼくくんがけいさつ、あは、つあ♡ 警察に通報したら、精液調べられておねえさん捕まっちゃうけど、おねえさんもオマンコくばあ～♡ してつ、う、んお♡ あ♡ ぼくくんがケツ掘れって言ってレイプしてきたんですねう♡ って言うから、そしたら一緒に逮捕されて、牢屋ではこぱこ繁殖セックスしようね♡ ね♡ 通報してね♡ ガバケツおっ開いてレイプされましたって言って♡ 言えつ、おお～♡

☆おねえさんにとっては甘美な妄想に、ペニスは休む間もなくいきり立つ。さらなる証を刻みつけるべく、おねえさんは息を深く吸いこむのだった。

(43:36)

ね♡ ねっ♡ 捕まりやすいようにい♡ ぼくくんが、ん～～♡ って踏ん張ったらお尻から出ちゃうように♡ おねえさんも～っとガキマンコの奥から入り口までねりっねりっねりり～っ♡ って、え～♡ ヨーグルトみてえなキンタマエキス、産みつける、からあ♡ ぼくくんはいつでも気絶していい、よお♡ あは、っ♡ 油断ケツ穴みちみち言わせながら、抜い、つでつ……うん～っ♡ んっ♡ 気絶、しろっ♡ おやすみっ♡ おやすみ、っ♡ おやす、みいい～～っ♡

第4話 みぢかなおねえさんがふしんしゃだったら

☆翌朝、おねえさんの店の前を気落ちした「ぼくん」が通りかかる。どこか不自然な足取りで駆け寄ったおねえさんは、嘘っぽい笑み声で語りかける。

(00:01)

.....あ、ぼくんだ、ぼくくん、ぼくんだ、おねえさん、の、んふつ、ん、じゅるう、んつ、んつ.....どうしたのかな、ぼくうん♡ ねえ、とっても悲しそうな顔に見えるよ♡ おねえさん、ぼくんが悲しいと、悲しいな♡ うん、うん、いつもみたいに、ぎゅー♡ して、背中、なでなでしてあげる、ゆっくりでいいからね♡

☆まんまと「ぼくん」を抱き寄せたおねえさん。優しげな腕はそのまま拘束になって、おねえさんの冷たい声から逃げ出せなくなる。

(00:45)

なーん、て♡ おねえさん知ってるよ♡ お耳、ふう.....ああ、そうだ、こう言ったら、わかっちゃうかなあ.....おいガキい♡ あ、っひひ♡ 身体、びくつ♡ ってしちゃったね♡ おけちゅ穴は、ど~お.....おねえさんがたっぷりぐちよぐちよほぐして、よだれ垂らしてビキチン待機♡ 肛門もこつ♡ の大人メコ穴にしちゃった、お・け・ちゅ♡ うふふ、こんにちは~.....チンポ♡ チンポお♡ あ~~~.....ぼくんの処女食い散らかしたチンポでえ~~す.....つ♡

☆おねえさんは「ぼくん」が恐怖に固まるのを腕越しに感じ取り、息っぽい声で忍び笑う。楽しいできごとであったかのように、凌辱の思い出をなぞる。

(01:51)

そう.....ぼくんのお部屋に入って、おふとんに入って、お口塞いで、お尻こじ開けて、ずぽつ♡ ずぽつ♡ ずぽつ♡ ぼくんのぬるぬる新品粘膜に、ぶりゅりゅりゅう.....ってえ、精子多すぎキンタマミルクで真っ白マーキングしちゃったメスチンポが、おねえさんなんだよお♡ ふふつ、ぼくん、腕に鳥肌立てるよ~.....気持ちいいの思い出しちゃった？ あへつ♡ トコロテン汁おちんちんからぴゅ~つ♡ って噴き上げちゃった、ケツマンコで精通しちゃったんだもんねえ♡ ぼくんとおねえさんの一生の思い出え♡

☆喜色たっぷりに、ペニスを隆起させるおねえさん。勃起を見られると股間に痛痒い悦感が走り、喉がごろごろとうなる。

(02:48)

あ、おっ、おっお♡ ふへ、っ、チンポおっ立つ、ん♡ ほらぼくん、見て？ おねえさんのおつきなおっぱいくぐりぬけて、おめめ下に動かしたら、もっ、こり♡ どうせすぐ勃っちゃうから、先っぽ天井に向けておパンツにしまって、やさしいおねえさん自慢のレイプ魔オチンポ♡ あ、っ♡ や

だ♡ ぼくくんおめめがえっちい♡ おお、つほ、ほお♡ 視姦されてびんびんくる、っ、ううう、勃起見せつけおズボンごとぴく、ぴく、動かして、ご挨拶、おりこう～……う♡

☆おねえさんはごく自然に、「ぼくくん」にしなだれかかる。正気を失した声で、自らの痴態を明け透けに開陳する。

(03:36)

マジで、やべっ、んだよなあ、あ、～つ♡ おねえさん最近チンポ硬くない時間のほうが少ねえもん♡ ちんちん萎えるの、一回マスカいてキンタマふくらオナ汁充填しちゃうまでの間だけ♡ お前のせいだよ？ ん、う♡ あんなクソガキほかとろちゅぱちゅば穴タダで食わせてくれちゃうんだもん♡ ちんちんデカいくせにバカみたいにずーっとびんびん言ってんの♡ 寝てもずっと♡ 起きたら毎朝パンツに盛大お精子お漏らし♡ きっと夢の中のおねえさんはぼくくんとい～～っぽいえっちなことしてるんだろうね♡

☆目の前の「ぼくくん」への発情を隠そうともしないおねえさん。不自然な息継ぎが、今にも破裂しまいそうな緊張を感じさせる。

(04:28)

あ……どうしよ、ぼくくん♡ おねえ、さん、んつ、んつ♡ 腰、かくかく動き始め、ちゃった♡ あ～～止まんね♡ 見ろ♡ あんときおねえさんこうやってお前の後ろからケツマンズボリ返して、はあっ、たんだぞっ♡ ふ、うう～、つ♡ あつあつ、メスのくせに慣れすぎパコ腰見せびらかして、あわよくばぼくくんがその気になつたら即ハメ、ハメ、ハメ、っへ、え`、ハメっ♡

☆おねえさんは口角が裂けるような笑みに顔を歪めながら、凶暴な欲求をあと一線のところで踏みとどまっている。ペニスからは先汁が溢れ、禍々しい形で伸び上がる。

(05:04)

ガキ♡ ガキ、つ♡ へ、へひつ♡ 責任取ってくれんだよ、なあ♡ 肉幹ぼってりおねえさんチンポ、のっ、おお♡ もっこりズボンの先っぽ恥ずかしい染みつけ、ちゃう、んふつ♡ 先汁じゅわじゅわ尿道ゆるチンポの面倒、う、～つ♡ デカパイゆさゆさ♡ デカタマゆさゆさ♡ おねえさんのお花の匂いの中に、むわああ……獣臭いオスの香り、ん、んつ♡ 立ち昇らせちゃうカリ傘おっぴろげ発情マンコほじ棒♡ ぼくくんの、きゅー、ぱつ♡ きゅーつ、ぱ♡ って、え`へ♡ 唇みたいに肉厚マンコになったケツ、でえ♡

☆目を落ち着かなくしばたたき、むりやり息を整えるおねえさん。衝動をすんでのところで抑え、「ぼくくん」に喋りかける体で、自分に暗示する。

(06:00)

……つあ、はあ、一つ♡ あ～つ♡ ここで犯す、おか、犯したいつ♡ つぐ、ぐ♡ 白昼堂々路上公開ケツマンレイプ♡ 合体、がつ、たいい……♡

(06:21)

そういう、ことだから、おねえさんはぼくんのおうちに侵入して、処女アナぶっぽぶっぽひっくり返し交尾、しちゃう悪いおねえさん、だからあ♡ ぼくん、もうおねえさんのところ、来ちゃダメ、だよ♡ お部屋の窓も絶対閉めて、誰かが訪ねてきてもドア開けないで♡ ぼく、くん、んんつ♡ ぼくん、ね、一回はレイプだから許してあげる、けど♡ 次おねえさんの前に出てきたら、それはもうおねえさんのデカマラのペットになる♡ ってことだから♡

☆おねえさんは最後に「ぼくん」を強く抱き締め、解放する。粗暴な言葉を囁くその裏で、淫らな確信にペニスは痛いほど屹立していた。

(07:07)

ねえぼくんつ……最後に一回、ぎゅってさせて、うん、ありがとう……ぎゅ、うう～っ♡ な♡ 来いよ♡ 絶対に来い♡ お前はおねえさんに犯されに来るの♡ ふ、うう、ん♡ 今度はぼくんとおねえさんじゃなくて、ケツ汁だらだらオスマンコとごんぶと肉幹メスチンポっ♡ 一回ケツでチンポ食ったらケツでしか気持ちよくなれないもん♡ ……それじゃぼくん、学校、行ってらっしゃい♡

第5話 ておくれ

☆それから数日、表面上平靜を取り戻したおねえさんの店の軒先に、「ぼくん」が訪れる。よく見知ったその姿を認めた途端、ペニスが熱を持って深く脈打つ。

(00:04)

えーっと、次で水替え最後かな……お、おっ♡ ヤベッ、またキンタマにちゃついて、思い出し勃起、ひひっ♡ シコリて、え……ふつ、ふー、っ、我慢、我慢、終わったらチンポ握って、ごしごし、ごしごし……って、あれ、お客様かな、あ……うそ、嘘、お、ぼく、くん、んん`♡

☆どすと粗野な足取りに反して、おねえさんの声はうわごとのように頼りない。おねえさんは「ぼくん」のすぐそばまで来ると、たやすくその身体を抱え上げてしまう。

(00:43)

ぼく、くん、ぼくくん、幻覚じゃない、よね♡ あああ、あ、～♡ ぼくくん、あ～あ♡ ぼく、くんっ♡
ダメ、だよ、来ちゃダメ、っておねえさん言ったよね♡ 大人の言うこと聞かない悪い子は、おねえさんが、だっこ♡ して♡ おうちの中に連れてって、いっぱいしつけて、あげなきや……よい、
しょと♡ わかる、わかってんのかな、ぼく、くん♡ 足つかないよ♡ 逃げられないよ♡ ああもう
かわいい、つ♡ おら、チューするぞつ♡ 口出せ、んむ、ぶちゅつ♡

☆おねえさんはあたりかまわず熱烈な口づけを施しつつ、ごく冷静に扉を開け、鍵をかける。らんらんと輝く瞳が、「ぼくん」の背筋に怖気を走らせる。

(01:43)

ぐちゅ、つぶ、ぶつ、むちやつ、しつ、舌、もお、入れろ、唇の裏でどすけべちゅっちゅ、んむるう、
ん、んもつ、んれるる、うずずつ♡ ほら、もうおうちに入っちゃう、むぐちゅつ、お外から見えなくなつ
ちやつた……え`へ♡

(02:14)

見て見てつ、今日からはぼくんのおうち、絶対ぼくんの身長なんかじゃ届かないところに五個
も六個も鍵がつけてあるんだよ、んつ、ぴちゅ、ぐ、っちゅ、ん～～、諦めようね♡ ぼくん閉じこ
め、つ、んおんお、んお`♡ 信じらん、つね♡ 鍵かけただけでイぐ、つイベイぐ、イがないつ、キンタ
マじめりゅ、う♡

☆おねえさんの長い手足が檻のように、床に下りた「ぼくん」を取り囲む。そのまましゃがみこん
だと思うと、舌なめずりをして「ぼくん」の初々しい拳動を見守る。

(02:46)

がっ、我慢ん♡ 我慢した、もうチンポ穴当たってるところ、おもらしみたいにねちょねちょ♡ お♡ んじゅ、るっ、ぼくん、お床に下ろしてあげるね、んしょ♡ そし、たら、ドアに手ついて、ぼくんをぐる～っと囲んだまま、しゃがみこんで、ふう～……あ、こんなところにお耳があるう、まっかっかだあ……♡ 脱げ♡ おねえさんの目の前でみずみずしいおちんちん丸出しにしろ、お♡ つるつる股間でえっちの準備整えろ♡

☆「ぼくん」のペニスが露わになると、おねえさんは矢も楯もたまらず先端に吸いつく。滑稽な様態を晒しながらも、主導権は決して手放さない。

(03:38)

ちんちん出した？ ちんちん出した？ ちんちん出し、たああ♡ あ～～っ、この包皮がくぶつ♡ って丸まつた朝顔おちんちん♡ 緊張してちいちゃく縮んで……ほらぼくん、目上の人の前でおちんちん皮かぶってるのは失礼だよ♡ おねえさんのお口もちゅぱちゅぱ言って怒ってる♡ あ、ちゅっぱ、ちゅっぱ、ちゅぱつっ♡ 剥け♡ ぼくん得意でしょ♡ ん♡ ほらお指添えて、おろしたての亀頭さん、ぱりっ♡

(04:20)

あつ食べる♡ 桃色つやつや亀頭、食べ、つりゅう♡ んぢゅつ、ぢゅう、ぢゅっぽ、ぢゅぼお♡ つふふう～つ♡ 即尺♡ こんな、もん“つ♡ ナマ出しチン先突きつけられたら、あ～、ぐちゅつ、んじゅ、うずうずうう♡ すぐに亀頭バキュームキメる♡ ぼくんに見せつける、んれるる、つぢゅぱ♡ 憧れのおねえさんがまだ浅いカリの肉エラにふるるん唇引っか、ひえて、んも、んむう～……つぱ♡ 見た？ お口伸ばしてチンポ引っ張るドン引きちんちんウォシュレット顔♡ もっと見ろ♡ は、あむ、つふ～う♡

☆おねえさんは「ぼくん」のペニスを味わい、陶然とする。「ぼくん」の不品行を言い咎め、ますます得意げにペニスをほおばる。

(05:14)

ぶちゅつ、ぶぢゅつ、じゅる、つぷう♡ うめつ♡ ちんちんうつめ♡ むちゅぶ、ぶふつ♡ 特にちんちん穴のまわり、んれろ、ぴちゃ♡ ペろペろひゅるとめっちゃ味する、んぶ、んま、んまつ♡ ぼくん、いけないんだあ♡ 毎日毎日お猿さんになっちゃってるんだ♡ ケツイキちんちん開通した次の日からずうつと♡ んちゅ、つう、おねえひゃんに掘られひゃのおもいらひて、ぐぷつ、んにゅるう、覚えたてしゃひえい、ぴゅつぴゅつ♡ ひてる味、んがぼつ、ぼつ、むぼ……つ♡

☆突如として、面妖な言葉を口にするおねえさん。手は落ち着かず、自らの股間をまさぐる。

(06:05)

らめ、かも♡ んむちゅ、つぶつ、ごめんねえ、ぼくん、おねえひゃん、このおひんひん、ぼくんより、んあ、れるるつ、ひゅきになつひやう、はも、んももつ♡ つは、あ、ほら、ぼくんのおちんちん、おサオの根元まで、あ～……つちゅーーつ♡ あ♡ ほおぱりながらぼくんとおしゃべり、し

ちやうしい♡ ほらおねえさんのおてて♡ んつ♡ んつお♡ 手放しチンしゃぶご奉仕♡ しながらメスチンポかりかりして、おつお"♡ うわあ♡ ズボン貫通して尿道汁がお指に糸引いちゃう、う"♡

☆おねえさんは「ぼくん」のペニスにむしゃぶりつきつつ、選択の余地のない要求を差し向ける。長く引き伸ばされた吸引音が、焦燥を高める。

(06:56)

ダメ、なの？ ぼくん、お尻でビキつき硬チンポの味覚えちゃったからアナルがしゃぶしゃぶしあくて疼いちゃうんだもんねえ♡だったら♡ ケツさっさとトロ穴マンコ状態にしておねえさんに差し出せ？ ちんちん根元から吸い下ろして、もつかい皮かぶせてダメにしてやるから♡ その間に肛門口くちくちょ引っかいて広げて濡らして♡ 自分からチンポケースになんだよ♡ はい、んあつ、ちゅうう～～～～、つ♡

☆「ぼくん」の裸の臀部に手を添え、すぐさま胸の高さまで抱え上げてしまうおねえさん。身体に入れたことで、声も低く震える。

(07:43)

.....できた？ 用意できた？ ぶっと♡ 長♡ 腫れマラお迎えできるとろつとろアナルになった？ あ、あ、ヤ、あつバ♡ ぼくんが♡ おねえさんのために♡ おけちゅ穴マンコにしてくれたあ♡ ちんちん汁漏れヤッバ♡ んふ、っ、そしたら、おねえさんこお～んな硬さも長さも太さも熱さも未熟なザコちんちんなんか唾吐きかけて捨ててあげる♡ ペッ♡そしたら、甘ったるいカウパーで長サオでらてらに濡らしながら、ぼくんをまただっこお.....う"んつ♡

☆おねえさんは「ぼくん」の苦悶の表情を真正面から見据え、雄穴にペニスを押しこむ。ペニスは挿入する最中ですら血液を流入させ、肉幹を膨らせる。

(08:35)

は、ああ♡ ガキっぽい体温高めの身体あ、抱き上げて♡ なで、なで、ん、ん♡ うほほケツまつう♡ や～っぱケツつ♡ ケツだよなああ♡ 丸くて脂がのって、奥にうまそうな穴が空いてて♡ は一つ♡ はあ、つ♡ わかるかなぼくん♡ このままおねえさんがちょっとぼくんの身体、下ろしちゃつたら、ああ、つくちゅ♡ ぼくんの体重が硬々チク先と、お肉割れかけアナル穴にかかる、自動的に串刺し♡ ほらおねえさんの顔見ろ？ 勝手にセックスしちゃう股間なんかほつといて、あへ～～♡ ってすんぞ♡

(09:27)

ほら、ほら、ケツったぶ左右に割り広げて、落ちる、落ちる、肉マラぎちぎちカメさんがぼくんのナ力に、んう、侵入して♡ ふわっとこねられマシュマロ肛門、っ、が、おなかの内側に、逆にめくれていくよ、っすうつ、ずぶぶぶぶぶう.....つ、あ、あ"へ～～つ♡

☆おねえさんは腰を控えめに揺すぶり、「ぼくくん」の膣内の熱に浸る。互いの身体が互いを拘束する不自由な姿勢の中、淫肉だけがぬるぬると擦れあう。

(09:58)

ぐぢゅ♡ っていったあ♡ マンコの音、マンコの、マンコが掘られて広がる、音おお"♡ ほ、本当にセックス、つ♡ 駅弁立ちハメ、ええ……んえ"♡ サオ裏つ、肉厚ぶるぶるガキ膣ひだで舐め回、ひやれて、ひや、あう♡ う～～つ♡ チン、ポ、お♡ つ、チンポだけお風呂に浸かってる、みたいにあったか、あ～♡ ぬふ♡ ぬふ♡ くわえて、離してくれなくてえ……

(10:41)

ああ～ここすっごおい♡ ちんちんおサオのところは硬めのお肉がちゅーー♡ って吸いついて、ふん"つぐぐ♡ ん♡ しゃきっぽ♡ 剥けマラ濡れ亀頭♡ にっちゅにっちゅ♡ えぐりがいのある膣奥肉堪能してりゅ、んっんつ、ふつ、ふーつ♡

☆おねえさんはあくまで甘ったるい声で、独占欲と優越感を露わにする。鈍重な陰嚢をたゆませて、一層獣欲を煮こごらせていく。

(11:05)

おいガキッ♡ いつまでもマンコ拡張ボケ面披露しないでおねえさんに教えて？ ぼくくんのことケツ穴マンコだとしか思ってない太チン女に使われる気分教えて？ まっすぐ上向くボッキの角度すら変える必要ないお手軽ちんちんハメ穴にされちゃってるの嬉しい？ だっこされておけちゅ膣肉しか動かせないの悔しい？ ずつppリオス穴マラ肉ぎちぎち交尾の挿入感で♡ 牛チチみたいなでっぷり陰嚢ぶらぶら揺らしてタマ裏ぴくぴく痙攣させてるおねえさんに犯されてどう思うかって聞いてんだよつ♡

☆「ぼくくん」への愛情を穢れた肉欲で塗り潰し、背徳感で遠吠えするおねえさん。「ぼくくん」を貶めれば貶めるほど、脳が悦楽に茹だって言葉が溶ける。

(12:05)

あ！？ 便器が何言ったって意味なんかわかりませ～、ん、ん"♡ はいお前お射精中毒のオナンチソ便器に永久就職決定、けつ、てい"い♡ つひ、い、い～つ♡ おらガキッ♡ おねえさんのチンポケースになれっ♡ 種臭こびりつきメスマラ専用お風呂につ、お、おお"♡ キンタマオス汁ヨキ捨て便器につ、にい"♡ んお、お、ほほおつ♡ こりえつ♡ んふーーつ♡ ぼくくんにひどいこと言いながらケツつ、掘ったくるの脳みそ溶けるカウパーになってチンポの先から全部出る、っぴゅ♡ ぴゅううう、う"♡

☆ペニスが音を立てる勢いでいきり立つのと同時に、おねえさんは憤りに満ちた鼻息を噴き出す。「ぼくくん」を威圧し、冒涜的な想像にうつとりと目を細める。

(12:57)

ん♡ ふう―――つ♡ ふんつ♡ チン、ポつ、あ～～マジでこいつのケツマン顔イラつきすぎて
メスチンビキリまくるつ♡ ふ、うつ、ぼくくんさあ♡ なんでそんなにマンコなの♡ 人間らぶらぶナマ
膣穴みたいな顔してるの♡ 便器だよね♡ ぼくくんおねえさんの性処理便器だよね♡ おねえさ
んが白いおしつこびゅつびゅつびゅ♡ ってする用の便器がなんで人間様の睾丸種汁タンクぐつぐ
つ沸騰させて調子乗っちゃうのかなあ♡ あ、つ♡ 頭きた♡ ぼくくんわかるる♡ 心の底から
便器にしてやる、～つ♡

(13:46)

んつ♡ 便器い♡ 便器ってのはなあ～♡ は、つあ、う♡ んふつ♡ 便器はいつでもきたな～～
い♡ くっさ～～い♡ お汁でべとべと～～♡ って、で、つひつ♡ 誰からも見下されるしようもない
存在じゃないとダメなんだよお……ぐ、つひひ♡ おねえさん優しいからあ♡ ぼくくんを一人前のお
便器に育ててあげるねえ♡ まずお尻の中はあ、まあここはもともとメスのにおいぶんぶんさせて
便器なんだけどお……ふん“つ♡ ん♡ ね♡ ぬつちょ♡ ぬつちょ♡ ってチンポ汁しみ、こま
せ、つでつ♡

☆おねえさんはいやらしく舌をくねらせて、「ぼくくん」に近づけていく。耳、反対の耳と舌を這わ
せ、「ぼくくん」を上から下から舐め溶かす。

(14:33)

でつ、膣ほじピストンつ、猛烈にケツ、掘りつ♡ ながら♡ ほらぼくくん♡ おねえさんの幅の広い
舌が、あ、～つ、んれろお、んれえ、お“つ♡ 目の前でべろべろして、ねえ♡ ふつ、つふ、一つ、こ
れ、でえ、う“つ♡ お耳、ぶちゅ、つちゅ、んるる、むちや、んあ～♡ ケツう♡ おねえさん汁でふ、や
かされて気持ちいいか？ あ？ べちゅ、んにゅるるう♡ ん♡ うわ♡ ざっこ♡ 耳穴舌ピストン
で肛門ぐぱぐぱ♡ めっちゃチン竿噛むじやん♡ おい便器い～、んむちゅつ♡

(15:38)

ほらブトチン抜きながら舌もずるずる抜くよ？ ぶぢゅつ♡ んにゅう……～～つ♡ ぞぞぞつ♡ つ
て背筋い、うぶげ立ててマンコ反応しちゃった……反対のお耳でもっとえっちなこと言ってあげる
ね♡ んう、つペちゃあ♡ あ～～もう両方のお耳が便器♡ マゾ肉穴のぼ～くくん♡ むちゅる、む
ちゅ、ごくつ♡ 四つん這いにしてちっせえ身体じゅうくまなくセンズリミルクぶっかけてあげる♡ 出
した後のぐったりサオ裏腋とかケツで拭く、んぷちゅ♡ でも顔射♡ 顔面精子お便器にだけはして
あげない、ぐちゅ、ぐちゅ、う♡

☆粘り気を増した唾液が口の端に引っかかる聞くに堪えない音。おねえさんは舌を出したまま
「ぼくくん」の顔に接近し、さらついた表面を押しつける。

(16:47)

ぴ、っちゃんあ♡ だって……あ♡ もうわかっちゃった♡ 次どこが便器にされちゃうか、お顔の前
で、んちゅ、つるる♡ くねくねして舌見るだけでマンコキツくしちゃうへんたいさあん……べ、
ちやあ♡ んえ～、あえつ、んれ、ろおん♡ んふ♡ ぼくくんの顔お、ワンちゃんみたいにれろれろ舐
め回して、んべえ、あ～～ここ♡ ちゅつちゅ、つちゅ♡ 目頭うんめ～♡ ショタケツ掘ったときだけ

出る涙あ、あ♡ あ♡ うめ♡ すっごおい、ぼくくんの涙メスチンびんびんバイアグラあ、ちゅろおつ♡

☆おねえさんは到底無理な条件をつけ、「ぼくくん」の自制心を突き崩そうと企む。わずかに残ったプライドを引き出し、丁寧にふやかしていく。

(18:07)

おでこ、あえ～……鼻先、んれえつ♡ ほっぺたあ、ぶちゅ、ちゅあ……あ♡ ほほ、つ♡ メインディッシュ♡ つやつや唇、おっおーーっ、キンタマ張る、っ……おいガキい♡ ゼってえ舌とか出すなよ？ らぶちゅ♡ じゃなくて、おねえさん汁でぼくくん便器をオス臭コーティングしてんだからな？ おねえさんの誘惑に負けちゃダメだよ？ ちんちん生やして男の子なんだからそれくらいできるよな？ ほら、お口い、ちゅるう……ん♡

☆過剰なまでに甘ったるい声で、「ぼくくん」の堕落を誘うおねえさん。的確なタイミングで打ちこまれるペニスが、膣ごと身体を弛緩させ始める。

(19:01)

ぺちゃ、ぴちゃあ♡ ぼ～くく～ん♡ お口開～けよ♡ んる、う、むにゅ～～っ♡ おねえさんがちゅ一したいって、ん、れええ♡ べろとべろで綱引きしよ♡ って舌先とんとん♡ ケツ処女おねえさんに捧げちゃうまでは、おねえさんとちゅ一する♡ なんて考えただけで、ん～、ぶちゅぶちゅ♡ ちんちんびん♡ 空撃ちぴゅつ♡ の大興奮だったんだよね♡ にちゅ、う♡ 今は、む、ちやあ♡ どう？ お尻にゅばにゅばにゅばにゅばにゅば♡ と一緒にお口がちゅ一したら♡ ぼくくんぜ～んぶ溶けてなくなっちゃう♡

(20:07)

ちゅ、ちゅむう♡ きゃー♡ 自分を便器扱いしておねえさんの言うこと必死に聞いて口ぎゅつて閉じて、かわいい～～……ん”、つ♡ まあケツ犯されてる時点で、そんなゴミカス抵抗意味ないんだけど♡ ほ、おら♡ 先っぽかったいマンコほじほじ棒で、ふ、う、んお“♡ こねこねされすぎてオスケツが♡ 直腸がしちゃいけない蕩けかたして、膣奥ぐりゅ、う“♡ って、でへつ♡ ねじっちゃったら、あ、あう……♡

☆おねえさんの舌先がわずかな隙間から「ぼくくん」の口腔に滑りこむ。おねえさんはいよいよ劣情のまま凶暴さを丸出しにして、「ぼくくん」をドアに押しつける。

(20:56)

んぢゅ、んお、ぢゅ、つるる、んあ、あ～～ぼくくん入れちゃった♡ ん”、むちゅ♡ つふ、つん♡ おけちゅとお口が繋がっておなかの中ぜえんぶマンコ♡ う、ふふ、つふ、～つ、むちゅぴちゅつ♡ きつしょいメス声出してんじゃね、っ、んむぐっ、ぶちゅる♡ おねえさんのザーチー汁ごぼごぼデカキン、タマつ♡ 挑発するばっかりが得意のガキ便器はあ……玄関のドアに、どすんつ♡ 押しつけてケツ掘って、おおおお、ほおおつ♡ ふつ、ふつ、おらキスハメ♡ キスハメすんぞつ♡ ふ、んむつ、ぶちゅ、つちゅううう♡

☆「ぼくくん」を物扱いすると、おねえさんのペニスは硬く滾る。口づけの間に漏れる吐息は短く引き詰まり、もはや局部のぶつかり合う音がもっとも高く響いている。

(21:59)

もうぼくくんただの据え付け便器、んぶちゅ♥ 起きて身支度して朝ご飯食べて♥ 夜じゅう煮詰めた精巣汁っ、ん、んん♥ あむ、ぶちや♥ ぼくくんの中にぶぴっ♥ ぶぴっ♥ ちゃんとコキ出しゴミ捨ててから出かける♥ 帰ってきたら汗蒸れぬちゃぬちゃおボッキマラ、ふむ、んぐっ、うあ♥

煮溶けたガキマンコでほかほかあつため、レイプっ、最初っからゴリバキに肥ったチンポで、んおつおお、お、おむぐっ、ぶちゅつ♥ 柔らか肛門おっぴろげセックス、しちゃう、うつう～～、うつ♥

☆もはや不随意に反応を返すばかりの「ぼくくん」に難癖をつけ、半狂乱の体で笑うおねえさん。肉竿に満ち始めた絶頂感で、背筋が緊張する。

(22:53)

あつ♥ あつ♥ ああつ♥ いけないんだあいけないんだあいけないんだあ～～♥ ぼくくんマンコにちにち腸肉ねじって、う、つほお～つつ♥ お~♥ チンポぴったり、吸い上げちゃった、あはつ♥ チンポ挿れてもらいながら次のチンポのこと考えちゃった、はぷ、んぐちゅ、ぶああ♥ このクソビッチ、つ♥ おら、おらっ、悪ガキ肉壺穴っ、おねえさんがやつづけてやるっ、あは、あははは、ぐぶちゅつ♥

☆おねえさんはもはや野卑な快感の前に倫理を投げ捨ててしまう。誇らしげにペニスを伸長させ、今一度膣内をぐるりとかき混ぜる。

(23:39)

ん♥ つふふ♥ う~♥ お前だってわかってんだもんなっ♥ オス、ガキいつ♥ むぷ、っちゅ、くちやあ♥ オスガキは孕まねーから罪悪感なしできもち、い~～、つ♥ だけ、のお、ナマパコセックスできるって知ってて♥ っぐ、うん、つふつ♥ そんな全身ケツマゾフェロモンまき散らして、んすっ、んす～～、うつ♥ ああああつ♥ マンコくせえんだよガキのくせに、ガキのくせに、マンコやわらけっ、おつおお、お~つ、おほっ、キンタマギとぎしてきたっ、上がって、きたああ……♥

☆おねえさんは総身で前傾し、腹筋を強直させて腰を打ちつける。有無を言わせない声色で、「ぼくくん」の膣内に射精する強い意志をあらわにする。

(24:30)

ふ一つ、ふつ、ふう~……ぼく、くんつ♥ ケツごと抱えてパコ腰振って、んぐっ、出す、出す、あ~～、ナ力に種、種種種種種、濃厚キンタマ子種、汁う♥ んじゅるっ、んふ、おらガキっ、マンコに出される準備、しろ、むぶっちゅ、ぶちゅ♥ んう、ゼリーみてえなくせえ体液、ゆるケツロから直腸マンコの折れ曲がったどこまでぶりっ♥ ぶり、い、つひいい~つ♥ っぐ♥ おねえさん遺伝子捨ててつ、噴いてつ、コキ出し、ってつ、そんで最後はあ~……♥

☆「ぼくん」が抵抗などできないことを知っていて、にたりと口角が裂けるように笑うおねえさん。ペニスはすでに絶頂に達なる脈動を始めてしまっている。

(25:24)

と・こ・ろ・て・ん♡あつ身体びくってしたあ♡ ぼくん大好きマゾケツアクメ♡ 粗チン裏側ぽっこりケツ膣雜魚イキスイッチ、おねえさんのぶつ濃い睾丸汁で撃って貫通♡ ん？ ダメだよ、抵抗ダメ、それダメです♡ 決定♡ ぼくんはおねえさんを優越感に浸らせるために、ケツ穴突かれておちんちんがぴゅーっ♡ 白旗を上げてしまします♡ おもしろいね♡ ザコだね♡ 負けちゃうね♡ そしてもうおねえさんのふとふとチンポはどくん♡ どくん♡ 尿道にザーメンを上げちゃっています♡ だから.....いけ♡

☆おねえさんは全精力を嬌声として、体液として放出する勢いで抽送を繰り返す。もはやなりふりは構っていられず、あまりに無様な断末魔を残して、射精してしまう。

(26:26)

おらいけっ♡ イケ、イってガキ穴締めろっ、ふんぐっ、ぐう、う、～っ♡ おおおっチンポ引っこ抜、げりゅついくついくつ♡ うつせえ喘ぐなっ、口塞いで、やる、かぶちゅ、くぶぶ、んべえ、えへっ♡ ちゅーしてやっからおねえさんにきもちよ～くいぐ～～♡ って言わ、ひえろ、んむ、うあ♡ ほらここの膨らんでるとこだなっ♡ ここに出す、っから、チンポ穴当てて、びく、びく.....んう、ペちゃ、ぶちゃ、ついぐ、むぢゅつ、んおつんおお"つ♡ はむちゅつ、む、つぐぐう～～～つつ♡ぶぐう♡

☆おねえさんは四肢をこわばらせながら、「ぼくん」にたっぷりと精を注ぎこむ。相手の都合をおかまいなしに獣じみた吐息を吹き続け、「ぼくん」を窒息させる。

(27:22)

つふ―――う"♡ ふう"――、一つ♡ ん"♡ ぐ、っちゅ、ふうう、～～っ♡ う"つ♡ ぶちゅ、つぶあ、出るう～～、うう♡ チンポ穴、ふーっ、ぐぱぐぱ開けて締めて、射精つ、しゃせ、ひい、んぶちゅつ、ぐぶつ、んんう"～～っ♡

☆噴精の勢いとともに一気に緊張が緩み、おねえさんは虚脱した声色で「ぼくん」を労わってみせる。玄関を満たす熱気が媚薬のようにしみこんで、脳を痺れさせる。

(28:06)

ぼ～くくん、つん、つんつ♡ あ～～脳みそメスアクメから戻ってこれなくてふわふわだね～♡ いっぱいどびゅーーう♡ 出されちゃったもんねえ♡ またおねえさんとぼくん、セックスしちゃつたあ♡ オチンポ、抜くよお.....ぬ、ぽんつ♡ うわ、おサオがずるって抜けたとたん、おけちゅがきったねえ音で交尾汁漏らしちゃった♡ くっせ♡ またおねえさんのおうち、おねえさんのキンタマ袋の中とおんなじにおいになっちゃうよお.....♡

☆喉の引きつる笑みとともに、「ぼくくん」の耳元で唇を開くおねえさん。隠しきれない喜悦を帯びた声で、「ぼくくん」の未来を閉ざしていく。

(29:00)

あれ、でもこの水っぽいにおいは、ふふ、ふへっ……ぼくくん♡ おちんちん♡ ところでん♡ ぴゅー♡ ……おねえさんに命令されたから♡ おねえさんにおけちゅ♡ ガン掘りされて、肛門痙攣させて、直腸マンコにあついせーしが広がって、ぴゅう……♡

(29:34)

ごめんね、おねえさんいっぱいひどいことしちゃったよね♡ ちょっとえっちな気分になっただけで、ぼくくんをおうちに連れこんで、レイプ♡ 本当にごめんね……でも♡ わかってんのか？ ぼくくんはそれ以下♡ ちょっとキンタマムラついたくらいで身体押さえつけられてハメ穴ほじられていじめられて、それでもおちんちんは負けちゃった～、え～～ん♡ って降参、白旗、ぴゅー♡

☆ぞつとする言葉の冷たさとは裏腹に、おねえさんの声は弾む。再びペニスが脈を打つと、おねえさんは「ぼくくん」を、力を強めて抱き締める……

(30:12)

もう人間じゃないんだね、ぼくくん♡ 便器♡ お尻が便器になっちゃった子なんて、おともだちからも、お母さんもお父さんからも捨てられちゃう♡ 当たり前♡ だってぼくくんケツ穴が交尾のお汁でぶくぶくしてる♡ きたない♡ くさい♡ でもおねえさんだけはぼくくんを大事にしてあげる♡ 朝から晩までオチンポハメててあげる♡ 嬉しい♡ 嬉しい♡ ゼーんぶ捨てておねえさんだけのものになっちゃって、身体がどきどきしてる♡

(31:01)

嬉しいか？ 嬉しいな？ おねえさんの言うこと聞かないと捨てられちゃう肉便器なんかになつて人生終わっちゃうの、嬉しい～……だったらいけ♡ まだケツマンコ粘膜デカマラの余韻でくぱくぱしてると♡ それ全部ちんちんの裏側に集めてお便器汁ぴゅう♡ 手放しコロテンで完全便器♡ おねえさんのこと好きだったらできる♡ できなかったらおねえさん、お前のこと好きじゃない♡ ほら、ほら、ぎゅってしてあげるから、いけ♡ さんはい♡ 人生終了ケツ穴便器～～……ぎゅつ♡